

# 令和2年度 主要事業進捗状況シート

## 基本方策1 確かな学力と自立を育む教育の充実

知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育み、将来の社会を担う人材を育成するためには、子どもの学習意欲を向上させるとともに、基礎的な学力や自ら学び考える力を伸ばしていくことが求められています。新学習指導要領では、「生きる力」をより具体化し、教育課程全体を通して育成する資質・能力を「知識及び技能の習得」「思考力、判断力、表現力等の育成」「学びに向かう力、人間性等の涵養」の三つの柱に整理されました。

また、新型コロナウイルス感染症等の危機事象が起こった際にも、子どもたちを誰一人取り残すことのない、個別最適化された学びを実現していくことが必要です。

学校教育においては、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、求められる資質・能力が偏ることなく実現できるように「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進し、子どもたちの確かな学力と自立を育みます。

また、9年間を見通した教育課程の編成、小・中学校の円滑な接続、幼保こ小等の円滑な接続<sup>①</sup>を踏まえ、教職員の指導力や学校力の向上を図ります<sup>②</sup>。

小学校において本市独自の少人数学級編制を実施し、よりきめ細かな指導を実践します<sup>③</sup>。また、超スマート社会（Society 5.0）に対応するため、プログラミング教育の推進や情報活用能力の育成の視点も踏まえながら、令和2年6月に策定した「枚方市学校教育におけるICT活用の方針」や、国のGIGAスクール構想に基づき、一人一台のタブレット端末等のICTを活用した協働型・双方向型の授業及び個別最適化された学びを推進します<sup>④</sup>。

諸外国の文化や習慣等について理解を深める国際理解教育を推進し<sup>⑤</sup>、市内大学とも連携しながら、国際化に対応した英語によるコミュニケーション能力を育成します<sup>⑥</sup>。また、学校図書館の活用による言語能力の育成<sup>⑦</sup>や、職業体験や社会見学、社会人による特別授業等により、社会と関わる機会を多く作るなど、キャリア教育を推進します<sup>⑧</sup>。

さらに、新たな感染症等の危機事象による学校の臨時休業などにも対応できるよう、オンライン授業の実施等のICTを適切に活用した学習活動の充実を図る<sup>④</sup>など、子どもたちの「自立」「協働」「創造」する力を育む新しい教育に向けた取組を進めます<sup>①⑨</sup>。

### 主要事業の進捗状況

1-①	小中一貫教育推進事業	担当課	教育指導課 教職員課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費を含む	45,658
概要		進捗状況			
○学力向上の取組 ◆全中学校区にコーディネーターを配置し、学力向上委員会や教科会、学年会等の充実を図り、組織的な取組を推進するとともに、学力向上・授業づくりに高い見識を有する学識経験者を招聘し、教員の授業力向上を図る。 ◆教科会・学年会における授業研究の推進を図るとともに、児童・生徒一人ひとりの課題を踏まえ、宿題や自学自習ノート等、家庭における学習習慣の充実に努める。 ○体力向上の取組 ◆各小中学校で、今まで行ってきた体力テストの結果を基に、現状の児童・生徒に合わせた体力向上推進計画を作成・実践する。大阪体育大学と連携して、授業改善をはじめ児童・生徒の体力向上に向けた取組を推進する。		○学力向上の取組 ◆全中学校区に学力に特化したコーディネーターを配置し、学力向上委員会や教科会、学年会などの校内組織の充実を図るとともに、学識経験者による講義や指導・助言を受けながら、授業改善や少人数指導など学力向上に向けた取組を推進している。 ◆授業改善や家庭学習等の充実に向けて、各校の情報教育推進担当を中心に、ICT機器の活用を図っている。 ○体力向上の取組 ◆各小中学校で、児童・生徒の実態に応じた体力向上推進計画を作成し、実践している。また研究指定校において、大阪体育大学と連携し、体力向上に向けた取組を行っている。			

実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R 1年度	R 2年度
全国学力・学習状況調査の学力調査の平均正答率	実績値 (%)		[小学校] 国語A : 69.00 国語B : 53.00 算数A : 64.00 算数B : 52.00 [中学校] 国語A : 77.00 国語B : 62.00 数学A : 67.00 数学B : 49.00	[小学校] 国語 : 61.00 算数 : 68.00  [中学校] 国語 : 72.00 数学 : 60.00	全国学力・学習状況調査中止のため測定不能
	目標値 (%)		[小学校] 国語A : 70.70 国語B : 54.70 算数A : 63.50 算数B : 51.50 [中学校] 国語A : 76.10 国語B : 61.20 数学A : 66.10 数学B : 46.90	[小学校] 国語 : 63.80 算数 : 66.60  [中学校] 国語 : 72.80 数学 : 59.80	全国学力・学習状況調査中止のため測定不能
	(目標値の根拠) 全国平均以上	達成割合 (%)	[小学校] 国語A : 97.60 国語B : 96.89 算数A : 100.79 算数B : 100.97 [中学校] 国語A : 101.18 国語B : 101.31 数学A : 101.36 数学B : 104.48	[小学校] 国語 : 95.61 算数 : 102.10  [中学校] 国語 : 98.90 数学 : 100.33	全国学力・学習状況調査中止のため測定不能
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価区分
	市長公約	平成28年度市政運営方針、令和元年度所信表明			
	実行計画	平成30年度当初実行計画			区分の推移
	関連計画	—			

1-②	学校園活性化事業	担当課	教育指導課 公立保育幼稚園課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費を含む	43,475
概要		進捗状況			
◆全学校園を学校園活性化推進校園として指定し、教育課題の解決や教職員の資質向上を図るため、校(園)内研修の充実を進めるとともに、年1回以上教職員対象の公開授業を実施し、授業改善等に活用する。また、菊咲かそう体験事業や、小学生陸上競技大会、小学生駅伝競走大会、小学生合同音楽会等の教育委員会が主体となる事業を実施する。		◆全64校が設定した研究主題に沿って校内研修等に取り組んでいる。 公開授業は1校が実施しており、今年度中に残り63校で公開授業を実施する。 菊咲かそう体験事業は6月1日から実施、小学生陸上競技大会、小学生駅伝競走大会、小学校合同音楽会は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から本年度は中止とした。 ◆全7幼稚園において設定した研究主題に沿って、園内研修等に取り組んでいる。また公開保育を実施する場合について、今年度においては新型コロナウイルス感染症対策のため、参加者を各市立幼稚園から1名のみに絞ったうえで実施する。 ※外部講師を招いて実施した園内研修の回数 8回 (9月30日現在)			

実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R 1年度	R 2年度
全国学力・学習状況調査の質問紙調査において「学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と回答した児童・生徒の肯定的な回答の割合 (目標値の根拠) 全国平均以上	実績値 (%)		小 : 79.00 中 : 83.30	小 : 76.70 中 : 78.90	全国学力・学習状況調査中止のため 測定不能
	目標値 (%)		全国平均 小 : 77.70 中 : 76.30	全国平均 小 : 74.10 中 : 72.80	全国学力・学習状況調査中止のため 測定不能
	達成割合 (%)		小 : 101.67 中 : 105.24	小 : 103.51 中 : 108.38	全国学力・学習状況調査中止のため 測定不能
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価区分
	市長公約	—			
	実行計画	—			区分の推移
	関連計画	—			

1-③	枚方市少人数学級充実事業	担当課	教職員課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費を含む	361,414
概要		進捗状況			
<p>◆府内の公立小学校では、小学校第1学年及び第2学年で、1学級35人以下の少人数学級編制が実施されているが、本市では、小学校における少人数学級編制を充実させ、子どもたち一人ひとりに対し、きめ細かな指導を行うことで、児童への教育効果を高めるため、支援学級在籍児童を含んで1学級35人以下とする市独自の少人数学級編制を第4学年まで実施する。また、第5・第6学年については、支援学級在籍児童を含む40人学級編制を実施する。</p> <p>◆学級数が増える学校に対して市費負担任期付教員を採用し配置する。</p>		<p>◆本市独自の支援学級在籍児童を含めた少人数学級編制として、小学校第1学年から小学校第4学年までは35人、第5・第6学年については40人で実施とするため、市費負担任期付教員の採用・配置に取り組んでいる。</p>			
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R 1年度	R 2年度
①基礎学力のたしかめテストにおいて到達基準に達した人数の割合 ②学年末テストにおける全国調査の過去問題を活用した「課題に正対した問題」の平均正答率 ③保護者アンケートにおいて「子どもは授業が楽しく分かりやすいと言っている。」と回答した割合 (目標の根拠) ①対前年度比向上 ②対前年度比向上 ③90%以上	実績値 (%)		①86.60 ②48.50 ③89.30	①81.50 ②46.10 ③90.30	調査未実施 (9月30日現在)
	目標値 (%)		①86.00 ②44.50 ③90.00以上	①86.60 ②48.50 ③90.00以上	①81.50 ②46.10 ③90.00以上
	達成割合 (%)		①100.69 ②108.99 ③99.22	①94.11 ②95.05 ③100.33	調査未実施 (9月30日現在)
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価区分
	市長公約	平成30年度市政運営方針			
	実行計画	平成30年度当初実行計画			区分の推移
	関連計画	—			

1-④	学校ICT機器等整備業務		担当課	教育指導課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	253,048
概要			進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆全小・中学校の授業用コンピュータ機器等の維持・管理を行う。</li> <li>◆全児童・生徒及び教職員へのタブレット型パソコンの配備に向けた取組を進める。</li> <li>◆授業支援ソフトウェア、MDMなどの整備、大型提示装置の周辺機器等を整備する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>◆令和2年8月に、小学校15校のコンピュータ教室のタブレット型コンピュータを更新した。</li> <li>◆令和2年9月から、中学校3年生を皮切りに「1人1台」のタブレット端末を導入し、全児童生徒への導入を年度内に完了する。同時に、校内LAN環境を年度内に整備し、大型提示装置など周辺機器等を導入する。</li> <li>◆「1人1台」端末の導入に伴って、教育用アプリケーションのアカウント配布、ICT活用に係るルールづくり及びICTサポート支援員による教員のサポートを行う。</li> </ul>			
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
授業用コンピュータ1台あたりの児童・生徒数		実績値 (人/台)	8.50	5.82	2.79	
(目標値の根拠)		目標値 (人/台)	9.10	6.90	5.00	
実行計画に基づく目標値		達成割合 (%)	106.59	115.65	144.20	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価区分	/
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針、令和元年度所信表明				
	実行計画	平成29年度当初実行計画			区分の推移	
	関連計画	—				

1-⑤	多文化共生教育研究事業		担当課	教育支援推進室	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	196
概要			進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学校園における在日外国人教育・国際理解教育の推進を図るため、枚方市多文化共生教育研究会において研究事業に取り組む。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>◆本市立学校における在日外国人教育・国際理解教育において、講演会・学習会等、様々な研究を行っている。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、例年実施している研究委員会やサマースクール等は開催せず、研究推進活動を実施している（機関紙・集録の発行）。</li> </ul>			
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
年6回開催する講演会・学習会に参加する教職員の延べ人数		実績値 (人・校)	338	377	0	
(目標値の根拠)		目標値 (人・校)	316	338	377	
前年度実績		達成割合 (%)	106.96	111.54	0.00	

関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価 区分	/
	市長公約	—		
	実行計画	—	区分の 推移	
	関連計画	—		

1-⑥	英語教育推進事業	担当課	教育指導課 教職員課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費を含む	194,420
-----	----------	-----	---------------	-----------------------------	---------

概要		進捗状況			
----	--	------	--	--	--

<p>◆全中学校に外国人英語教育指導助手（NET）、全小学校に日本人英語教育指導助手（JTE）を配置し、英語を使った体験的な学習の充実を図る。また、小学校に英語専科教員を配置するとともに、小学校で指導する外国人英語教育指導助手（NET-E）を新たに配置し、小学校外国語活動の指導体制の強化を図る。</p> <p>◆英語の4技能（「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」）をバランスよく育成するため、全市立中学校第2学年の全生徒を対象に4技能に対応した外部検定試験を実施し、その結果分析をもとに授業改善、個に応じた指導及び生徒の学習意欲の向上に活用する。</p> <p>◆関西外国語大学と連携し、留学生との交流等英語を使った体験的な活動の充実を図り、より実践的な英語力を育むため「枚方英語村」を実施する。</p>		<p>◆全中学校にNET、全小学校にJTEを配置し、英語を使った体験的な学習を実施している。また、小学校市費負担英語専科教員と府の加配を活用し、Native Speakerで小学校特別免許を所有する教員を含む専科教員を配置し、小学校外国語教育の指導体制の充実を図っている。なお、NET-Eについては配置に向けた取組を進めている。</p> <p>◆新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業が長期に及んだことから、英語外部検定試験は令和3年1月に実施予定。結果分析をもとに授業改善、個に応じた指導に活用をしていく。</p> <p>◆枚方英語村の開催については、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら、実施の可否及び手法等の検討を進めている。</p>			
---	--	--	--	--	--

実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度
アンケート調査において、「英語の授業が楽しい」と答えた児童（小学校第3学年～第6学年）及び生徒（中学校第1学年～第3学年）の割合  （目標値の根拠）	実績値 (%)		小：86.20 中：83.60	休業措置により 調査不能	調査未実施 (9月30日現在)
	目標値 (%)		小：90.00 中：85.00	小：90.00 中：85.00	小：90.00 中：85.00
児童（小）の満足度90%以上 生徒（中）の満足度85%以上	達成割合 (%)		小：95.78 中：98.35	休業措置により 調査不能	調査未実施 (9月30日現在)

関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価 区分	/
	市長公約	平成30年度市政運営方針、令和元年度所信表明		
	実行計画	平成30年度当初実行計画	区分の 推移	
	関連計画	—		

1-⑦	読書活動推進事業	担当課	教育指導課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費を含む	61,233
-----	----------	-----	-------	-----------------------------	--------

概要		進捗状況			
----	--	------	--	--	--

<p>◆児童・生徒の言語能力を育むため、全中学校区に配置した学校司書と司書教諭が連携して、義務教育9年間を見通した読書活動の充実を図る。</p> <p>◆市立図書館と連携した学校図書館の環境整備、児童・生徒の読書習慣の確立、調べ学習等授業における学校図書館の活用を推進する。</p>		<p>◆義務教育9年間を見通した読書活動の充実を図るため、全小中学校で学校図書館の運営方針及び年間計画を作成し、取組を進めている。</p> <p>◆児童・生徒の読書習慣の確立に向けて、朝読（小41校、中17校）や読み聞かせ（小34校、中1校）、ビブリオバトル（小1校、中10校）等の読書活動を実施している。授業において学校図書館を活用している小学校は44校、中学校は17校である。</p>			
---	--	--	--	--	--

実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R 1年度	R 2年度
全国学力・学習状況調査の質問紙調査において学校の授業時間以外に読書を「10分以上」する児童・生徒の割合 (目標値の根拠)	対前年度5ポイント向上	実績値 (%)	小：59.90 中：47.30	小：63.60 中：42.80	調査中止のため 測定不能
		目標値 (%)	小：66.30 中：51.70	小：64.90 中：52.30	調査中止のため 測定不能
		達成割合 (%)	小：90.35 中：91.49	小：98.00 中：81.84	調査中止のため 測定不能
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価区分
	市長公約	平成28・29・30年度市政運営方針、令和元年度所信表明			
	実行計画	平成26年度当初実行計画			区分の推移
	関連計画	—			

1-⑧	進路指導等事務	担当課	教育支援推進室	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	2,808
概要		進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆進学意欲を有しながら、経済的な理由により就学が困難な支援を要する生徒や保護者等に対して、進路選択支援事業を特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会に委託し、奨学金等に関する相談や情報提供を実施する。</li> <li>◆直接働く人と接する職場体験学習などを通して、学ぶことの意義や働くことの意義を理解し、生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意思、意欲などを培うキャリア教育を系統的に実施する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆委託している特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会が奨学金等に関する相談や情報提供を行っていることを各中学校に周知案内した。例年実施している説明会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開催しなかった。</li> <li>◆職場体験学習については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、今年度は実施しないことになった。</li> </ul>			

実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R 1年度	R 2年度
職場体験学習における授業数の各校の平均値 (目標の根拠)	職場体験・インターンシップ実施状況等調査	実績値 (件)	13.95	12.16	職場体験学習 中止のため 測定不能
		目標値 (件)	12	12	12
		達成割合 (%)	116.25	101.33	職場体験学習 中止のため 測定不能
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価区分
	市長公約	—			
	実行計画	—			区分の推移
	関連計画	—			

1-⑨	学力向上推進事業（放課後自習教室事業）	担当課	教育指導課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	62,122
概要		進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆児童・生徒の学習意欲を高め、自学自習力を育むとともに、新学習指導要領で求められている資質・能力の育成を図るため、授業・課業時間外・家庭学習で学習ができる環境を整備し、学力向上の取組を推進する。また、放課後自習教室の開室方法及び児童・生徒の学習補助をする「やる気リーダー」の配置を見直し、民間のノウハウを生かした学習教室を実施し、児童・生徒の学習支援を行う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆児童・生徒一人ひとりの理解度に応じて学習ができる学習コンテンツを活用しながら、授業・課業時間外・家庭学習における学習機会の充実を図っている。</li> <li>◆また、8月においては中学3年生を対象にした夏季集中学習教室を開催し、9月から民間委託により全小学校では放課後自習教室、中学校では学習教室ひらスタを開室しており、参加児童・生徒の学習意欲の向上や基礎学力の定着などの学習支援を図っている。</li> </ul>			

実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R 1 年度	R 2 年度
放課後自習教室の実施回数（夏季集中学習教室を除く。）		実績値 (回)	5,401	4,239	314
<b>(目標値の根拠)</b> <b>【H30年度】</b> 年間80日開室（小45校・中19校） <b>【R 1 年度】</b> 年間80日（小45校） 27日（中19校）開室 <b>【R 2 年度】</b> 年間24日（小45校） 27日（中19校）開室		目標値 (回)	5,120	4,113	1,593
		達成割合 (%)	105.49	103.06	19.71
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価 区分
	市長公約	平成28年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			区分の 推移
	関連計画	—			

## 基本方策2 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

近年、子どものコミュニケーション能力や社会適応能力、体力・運動能力の低下が課題となっており、子どもの豊かな人間性や社会性、健やかな体が育まれる環境づくりが求められています。

自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てます。一人ひとりの個性や価値観、多様化する人権課題を身近に感じ、考える機会をつくることで、すべての人の人権を尊重し、自他の生命を大切にすることを養います<sup>①</sup>。また、多様な文化を認め合い、人類普遍の理念である平和の持つ意義を学ぶとともに、国際社会に貢献する資質や態度を身につけられる教育を進めます。

外国籍であったり、長く外国で居住していたなどの理由で、日本と異なる言語・文化・習慣で育った子ども等に対し、日本語習得のための機会の提供や相談支援などを進めることで、多文化共生の推進に取り組みます<sup>②③</sup>。

小・中学校期は健全な身体の育成に重要な時期であることから、大学との連携による効果的な体育科の授業実践や民間活力を活用した水泳指導などに取り組むとともに、中学校部活動については、引き続き専門的なスキルを持つ外部人材を活用し、充実していきます<sup>④⑤</sup>。

また、生活習慣の未確立やアレルギー疾患の増加等、子どもの健康に関する課題が多様化していることを踏まえ、健全な食生活の形成のための食育の推進<sup>⑥⑦</sup>や、食物アレルギーへの対応など、安全で安心な学校給食を提供し<sup>⑦</sup>、健やかな体が育まれる環境づくりを推進します<sup>⑨⑩⑪</sup>。中学校給食では、これまでの検証や課題整理を引き続き行いながら、全員給食の実施に向けた検討を進めます<sup>⑫</sup>。

さらに、豊かな心と社会性を養うため、文化・芸術に親しむ機会<sup>⑬</sup>や、自然を生かした野外活動などの体験活動を拡充します<sup>⑭</sup>。

### 主要事業の進捗状況

2-①	人権教育推進研究事業	担当課	教育支援推進室	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	1,238
概 要		進捗状況			
◆	<p>学校園が教育活動において人権教育を適切に位置づけ、校園長を中心とした組織的な指導に努め、人権教育をすすめるため、枚方市人権教育研究協議会において研究事業に取り組む。</p>	◆	<p>小中学校における人権教育について、講演会や実践報告会、研究大会等、様々な研究を通して推進を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北河内地区人権教育研究学習会及び研究大会（例年は年5回開催）</li> <li>・大阪府人権教育研究協議会集団づくりフォーラム</li> <li>・大阪府人権教育夏季研究大会</li> <li>・枚方市人権教育研究協議会講演会</li> <li>・大阪府人権教育研究堺・泉北大会</li> <li>・実践報告会（例年は年2回開催）</li> <li>・全国人権・同和教育研究大会（例年は年1回開催）</li> <li>・大阪府人権教育人権・部落問題学習研究集会</li> </ul> <p>◆令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止。</p>		

実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R 1年度	R 2年度
大阪府人権教育研究協議会等による人権教育推進のための教職員研修会等への参加人数		実績値(人)	562	577	研修会中止のため測定不能
		目標値(人)	534	562	577
(目標値の根拠)					
前年度実績		達成割合(%)	105.24	102.67	研修会中止のため測定不能
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価区分
	市長公約	—			
	実行計画	—			区分の推移
	関連計画	—			

2-②	多文化共生教育研究事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育支援推進室
-----	--------------------------	-----	---------

2-③	帰国児童等に対する教育指導員派遣事業	担当課	教育支援推進室	事業費計 予算額(千円) ※人件費は除く	9,075
-----	--------------------	-----	---------	-------------------------	-------

概要		進捗状況			
◆日本語の理解が困難な帰国児童等に対して、日本語及び教科の学習の支援、学校生活における相談等を行う教育指導員を派遣し、当該児童等の孤立感の解消や学校生活への適応の促進に努めることにより、当該児童等に対する教育の充実を図る。		◆日本語指導の必要な帰国・渡日外国人児童・生徒を対象に教育指導員を週1回2時間、もしくは週2回4時間派遣した。 ◆対象言語 中国語、タガログ語、シンハラ語、ポルトガル語、モンゴル語、韓国・朝鮮語、ベトナム語、ウルドゥー語、広東語、ドイツ語、スペイン語の11言語。 ◆令和2年9月30日現在の対象児童・生徒は26人。			

実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R 1年度	R 2年度
対象児童・生徒が学校生活を快適に過ごせていると感じている割合		実績値(%)	100.00	100.00	100.00
		目標値(%)	100.00	100.00	100.00
(目標値の根拠)					
対象児童・生徒が学校生活を快適に過ごせていると感じている割合が100%		達成割合(%)	100.00	100.00	100.00

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価区分
	市長公約	—			
	実行計画	—			区分の推移
	関連計画	—			

2-④	部活動指導協力者派遣事業	担当課	教育指導課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	13,679
概要		進捗状況			
◆部活動の活性化と充実を図るとともに、顧問教員の時間的余裕を生み生徒指導や授業研究の時間を確保するため、各中学校に専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣する。		◆4月・5月は新型コロナウイルス感染症の影響により休校していたが、学校再開の6月から専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣し、部活動の充実と顧問教員の時間的余裕の確保を図っている。 派遣中学校数：19校 部活動指導協力者：108人			
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度
中学校部活動指導協力者の派遣回数		実績値 (回)	5,533	5029.5	1622.5
(目標値の根拠)		目標値 (回)	7,030	7,030	5,354
派遣回数の上限 ※R2年度より、過去の実績値を踏まえ目標値を変更		達成割合 (%)	78.99	71.54	30.30
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価 区分
	市長公約	平成28・30年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			区分の 推移
	関連計画	—			

2-⑤	学校支援社会人等指導者活用事業	担当課	教育指導課 公立保育幼稚園課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	3,921
概要		進捗状況			
◆各教科の指導補助、総合的な学習の時間、特別活動など優れた知識や技能を有する多様な人材を学校教育に活用することで学校での教育活動の活性化を図る。		◆小中学校においては、4月・5月は新型コロナウイルス感染症の影響により休校していたが、学校再開の6月から、各教科における学習支援（総合的な学習の時間や外国語等）や読み聞かせ、菊の栽培、放課後学習の支援を実施し、教育活動の活性化を図っている。 学校支援社会人等指導者登録者数：272人 ◆幼稚園においては、学校支援社会人等指導者により、サッカー指導や英語に触れる活動、また園の畑を使った栽培活動、お話会やお茶会（茶道）などを実施している。			
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度
学校支援社会人等指導者を活用した回数		実績値 (回)	1,489	1,696	225
(目標値の根拠)		目標値 (回)	1,640	1,704	1,645
活用回数の上限（1校あたり約22回）		達成割合 (%)	90.79	99.53	13.68
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価 区分
	市長公約	—			
	実行計画	—			区分の 推移
	関連計画	—			

2-⑥	学校給食事業	担当課	おいしい給食課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	387,110
概要			進捗状況		
<p>◆全小学校の児童を対象に、2箇所のセンター方式の共同調理場、4箇所の親子方式共同調理及び24箇所の単独調理場において調理、配送、食器・食缶等の洗浄、物資搬入管理、衛生・安全管理等の業務を直営または委託で実施するとともに、米飯の炊飯や検便等の業務について業務委託により実施する。</p> <p>◆全中学校の生徒を対象に、第一学校給食共同調理場において調理、配送、食器・食缶等の洗浄、物資搬入管理、衛生・安全管理等の業務を委託で実施するとともに、米飯の炊飯や検便、施設の機械警備等の業務について業務委託により実施する。</p> <p>◆中学校給食は、平成28年度から選択制ランチボックス方式により希望する生徒への提供を行っている。</p>			<p>◆年度当初は、新型コロナウイルス感染症対策による学校臨時休業や分散登校を行っていたため、令和2年6月15日から給食の提供を開始している。</p> <p>◆現在は、児童・生徒の身体の健全な発達に資するため、共同調理場及び単独調理場で調理した、安全で栄養バランスのとれた美味しい学校給食を調理し、児童・生徒へ提供できている。</p>		
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度
小・中学校給食提供食数		実績値 (食)	4,861,772	4,441,098	2,021,448
(目標値の根拠)		目標値 (食)	5,060,892	5,051,155	4,069,652
<p>年間の給食提供食数。 【小学校】 (1学期始業式現在の児童、教職員数) ×平均給食実施日数</p> <p>【中学校】 全生徒数×目標喫食率×平均給食実施日数</p>		達成割合 (%)	96.07	87.92	49.67
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価 区分
	市長公約	—			
	実行計画	—			区分の 推移
	関連計画	—			

2-⑦	学校給食における地元農産物利用促進事業	担当課	おいしい給食課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	—
概要			進捗状況		
<p>◆安全・安心でおいしい学校給食の提供のため、小学校給食用食材として大阪府内産を含めた地元農作物の利用促進を図り、第3次枚方市食育推進計画の目標である「米・野菜類全体購入量に対する枚方産及び府内産購入量の割合を(重量ベース)38%」の達成に向け、取組を進める。</p>			<p>◆野菜類については、枚方産・府内産合わせて10品目で9.9トン、うち枚方産は6品目7.9トン(玉ねぎ、じゃがいも、かぼちゃ、なす、冬瓜、さつまいも)を使用した。また、米については、北河内産米を含む大阪産「ヒノヒカリ」「にこまる」を64.8トン使用している。以上の結果、令和2年4月～令和2年9月の枚方産及び府内産購入量の割合は33.7%。 (新型コロナウイルス感染症対策・学校臨時休業、分散登校により、令和2年6月15日より給食開始)</p>		

実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R 1 年度	R 2 年度
地元農産物の割合	実績値 (%)		32.30	28.20	33.70
	目標値 (%)		38.00	38.00	38.00
(目標値の根拠)					
第3次枚方市食育推進計画の目標		達成割合 (%)	85.00	74.21	88.68
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価区分
	市長公約	—			
	実行計画	—			区分の推移
	関連計画	第3次枚方市食育推進計画			

2-⑧	食物アレルギー対応推進事業	担当課	おいしい給食課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	—
概要		進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆食物アレルギー対応の適切かつ確かな取組を進める。</li> <li>◆学校給食における食物アレルギー対応上の事故(救急搬送)件数(新規発症を除く)が0件となるよう、より一層の安全を確保する。</li> <li>◆中学校給食において、7大アレルゲンを使用しない代替食の提供を毎日行う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆中学校給食において、毎日7大アレルゲンを使用しない給食の提供を行った。小学校給食において、「学校園におけるアレルギー疾患対応の手引き」、「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」に基づいた市内統一の対応を実施している。</li> <li>◆ヒヤリハット・事故報告の蓄積を行っている。</li> </ul>			
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R 1 年度	R 2 年度
アレルギー対応をしている児童における事故(救急搬送)件数	実績値 (件)		0	0	0
	目標値 (件)		0	0	0
(目標値の根拠)					
アレルギー対応をしている児童における事故(救急搬送)がないこと。		達成割合 (%)	100.00	100.00	100.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価区分
	市長公約	—			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			区分の推移
	関連計画	—			

2-⑨	学校健康管理事業	担当課	教育支援推進室	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	6,191
概要		進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学校内科医、学校歯科医、学校眼科医、学校耳鼻科医、学校薬剤師、腎臓検診医、歯科衛生士による小学校45校、中学校19校での内科、歯科検診などの健康診断、健康相談、臨時健康相談、感染流行時の指導、学校環境衛生の維持管理及びブラッシング指導を実施する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆小中学校を対象に、内科・歯科・眼科検診を、小学校第1・3学年及び中学校第1学年を対象に耳鼻科検診を学校医で行った。学校薬剤師による空気、飲料水、プール水質(中学校部活動校のみ)、照度の検査等を行っている。</li> <li>◆また、歯科衛生士によるブラッシング指導を各小学校で学年を決めて秋冬に38校で行う予定である。</li> <li>◆健康相談は、専門的な観点、立場から学校及び児童・生徒の支援を行っている。</li> </ul>			

実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R 1年度	R 2年度
学校内科医 1人あたりの児童生徒数		実績値 (人)	309	305	305
(目標値の根拠)		目標値 (人)	330	330	330
「枚方市立学校園の学校園医の委嘱等に関する要綱」を基に算出		達成割合 (%)	106.80	107.58	107.58
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価区分
	市長公約	—			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			区分の推移
	関連計画	—			

2-⑩	健康診断事業	担当課	教育支援推進室	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	30,286
概要		進捗状況			
◆全学校園において学校保健安全法に基づく健康診断を実施する。		◆結核検診(全児童・生徒)、尿検査(全児童・生徒)、心臓検診(小学校第1学年・中学校第1学年)及び眼科検診(全児童・生徒)を行った。 ◆脊柱側わん(モアレ)検診を12月～1月に実施する。  健康診断総受診者数：30,525人 健康診断総対象者数：30,822人			
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R 1年度	R 2年度
健康診断受診率 定期健康診断の受診率(受診者数/対象者数×100)		実績値 (%)	99.70	99.71	99.03
(目標値の根拠)		目標値 (%)	100.00	100.00	100.00
対象者全員		達成割合 (%)	99.70	99.71	99.03
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価区分
	市長公約	—			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			区分の推移
	関連計画	—			

2-⑪	小中一貫教育推進事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育指導課
-----	-------------------------	-----	-------

2-⑫	中学校給食充実事業	担当課	おいしい給食課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	5,668
概要		進捗状況			
◆選択制の中学校給食について、喫食率向上に向けた取組を進める中で、生徒・保護者の意向も踏まえ、全員給食への拡充を目指す。		◆現在、新型コロナウイルス感染症の再度の感染拡大による臨時休業や分散登校も見据え、臨時的な給食の提供ができるよう、また、非常時の保護者負担の軽減を図ることができるよう、民間調理場の活用も含めた供給体制の検証を行っている。 ◆選択制での中学校給食の喫食率については、中学校やPTAと連携した取組等を進め、目標喫食率確保に努め、喫食率は平成28年度25.7%から令和2年9月で34.8%に向上している。 ◆全員給食については、新型コロナウイルス感染症の影響からスケジュール及び財源確保について再検討を余儀なくされているが、これまでの検証や課題整理を引き続き行いながら、実施に向けた検討を行う。			
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度
中学校給食の喫食率		実績値 (%)	32.80	33.50	34.80
		目標値 (%)	45.00	50.00	50.00
(目標値の根拠)		達成割合 (%)	72.89	67.00	69.60
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価区分
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針、令和元年度所信表明			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			区分の推移
	関連計画	—			

2-⑬	文化財啓発普及事業	担当課	文化財課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	1,011
概要		進捗状況			
◆文化財説明板の新たな設置や古くなった説明板の建替 ◆文化財防火デー（市と枚方寝屋川消防組合が、文化財を所蔵する社寺等で消防訓練を実施） ◆歴史講座、歴史ウォーク（市内文化財めぐり等） ◆枚方・百済フェスティバル（古代の枚方と朝鮮半島の交流の歴史を伝えるイベント） ◆文化財の展示（輝きプラザきらら2階展示ルーム等で、発掘調査の出土遺物等を展示） ◆発掘調査現地説明会 ◆刊行物（文化財関係図書等）の発行など ◆出前講座		◆文化財説明板の建替え、修繕候補の選定を予定している。 ◆文化財防火デーの実施場所の検討、消防組合との協議を進める予定である。 ◆歴史講座は「幕末の蘭方医 緒方洪庵の感染症対策」（10月）や「枚方市内の中・近世石造物の石材と産地」（12月）をテーマに実施予定。また、親子を対象とした市民歴史講座「ひらかた歴史探検隊-枚方宿を歩こう-」の11月開催を予定している。歴史ウォークは3月に開催予定。 ◆枚方・百済フェスティバルは新型コロナウイルス感染症対策のため、開催延期となった。 ◆再整備事業の状況を写真パネルで紹介する文化財展示会「特別史跡百済寺跡発掘調査パネル展」（6月24日～7月26日）を開催し、現在、市内の発掘調査成果をもとに紹介する「発掘でわかった！枚方のむかしむかし」を輝きプラザきらら展示ルームで開催中（8月5日～2月28日）。 ◆文化財だより4月・7月に発行（10月・1月発行予定）。			

実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R 1 年度	R 2 年度
歴史関連イベントの参加者数		実績値 (人)	926	810	114
(目標値の根拠)		目標値 (人)	1,200	1,200	1,200
過去のイベントの参加者数の平均値を目標値とする。		達成割合 (%)	77.17	67.50	9.50
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			評価 区分
	市長公約	—			
	実行計画	—			区分の 推移
	関連計画	—			

2-⑭	野外活動センター利用促進事業	担当課	スポーツ振興課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	3,750
概要		進捗状況			
◆野外活動センターの利用増を目指し、学校キャンプ(日帰り・宿泊)を実施しやすくするため、企画段階からサポートを行い、学校ニーズに対応した学校キャンプの促進を図る「学校キャンプ支援事業」を実施する。(平成26年度は試行。平成27年度から本格実施。)		◆新型コロナウイルス感染症の影響から、9月末までは、市主催・共催イベントが原則中止であったことから学校キャンプの受け入れを停止している。 10月からの受け入れ再開に向け、学校キャンプにおける感染症対策について整理を行い、予定している学校へ周知を行っている。			
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R 1 年度	R 2 年度
市内小学校のキャンプ利用件数		実績値 (件)	22	15	0
(目標値の根拠)		目標値 (件)	25	25	22
昨年度目標値又は直近3年実績値の平均のどちらが多いか		達成割合 (%)	88.00	68.18	0.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			評価 区分
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			区分の 推移
	関連計画	—			

### 基本方策3 教職員の資質と指導力の向上

本市においては新規採用教職員が増加し、経験豊かな多くの教職員の退職が続く中、教職員の世代交代が進んでおり、倫理観・規範意識及び子ども理解と集団づくり、授業力やマネジメント力等、教職員一人ひとりの資質と指導力の向上が求められています。

平成26年度からの中核市移行に伴い、大阪府から教職員研修の権限が移譲されました。そのため、『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむ』をテーマに、本市の教育課題に即した独自のカリキュラム（指導計画）で教職員研修を実施し<sup>①</sup>、「経験年数の少ない教職員の育成」「管理職及び専門性を備えたリーダーの養成」「主体的・対話的で深い学びのある授業づくり・授業改善への支援」を重点項目とした教職員研修の充実を図り、明日の枚方の教育を担う教職員を育成します<sup>①</sup>。

また、教育的愛情にあふれ、高い意欲と優れた指導力を有する教職員を育成するため、授業の達人・授業マイスターによる研究授業等により、授業改善につなげること<sup>②</sup>で、子どもたちの「確かな学力」と「生きる力」を育みます。このため、教育委員会の学校支援機能を充実させる<sup>③④</sup>とともに、学校教育の水準の維持・向上に資するため、業務量を適切に管理することで、教職員の働き方を見直し、教職員が子どもたちと向き合う時間を確保します。

さらに、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」のための授業改善や、「カリキュラム・マネジメント」等の組織運営改善に係る教育課題に対応した研修<sup>①</sup>のほか、情報活用能力の育成のため、ICT活用のねらいを明確にした教職員のICT活用能力の向上に係る研修にも取り組みます<sup>①</sup>。

#### 主要事業の進捗状況

3-①	枚方市教職員育成事業	担当課	教育研修課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	4,304
概 要		進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆平成26年度からの中核市移行により、従来大阪府教育委員会が実施してきた府費負担教職員研修の初任者研修や10年経験者研修等の法定研修をはじめとする各種研修の多くを本市教育委員会が実施。</li> <li>◆『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむ』ことを目標に、「キャリアステージに応じて学び続ける教職員の育成」「主体的・対話的で深い学びの実現に向け、『Hirakata授業スタンダード』に基づいた授業改善（第2ステージ）」「子ども理解を基盤とした学校経営や学級経営、授業研究・研修への支援の充実」の3点を重点項目とし、「基本研修」及び「専門研修」を計画・実施。</li> <li>◆新学習指導要領を踏まえた授業づくり、授業改善及び教員の授業力の向上等に向け、指導主事や教育推進プランナー（学校教育に関して高い見識や経験を有する校長経験者等）が学校園を訪問し、経験の浅い教員への指導助言、校内研修等での指導助言、学校運営への支援を実施。</li> <li>◆枚方市が取り組んでいる「教育」を広く市民に情報発信するとともに、今後の枚方の「教育」の方向性について市民と共有する場として「枚方市教育フォーラム」を実施。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆令和2年度は、令和元年度に引き続き、『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむ』をテーマに、①キャリアステージに応じて学び続ける教職員の育成、②「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、『Hirakata 授業スタンダード』に基づいた授業改善（第2ステージ）、③子ども理解を基盤とした学校経営や学級経営、授業研究・研修への支援の充実を重点項目として、本市の教育課題に応じた独自のカリキュラムのもと、初任者研修や10年経験者研修をはじめ、教職員の経験・職務に応じた基本研修及び教育課題や教科等の専門性を高める専門研修を実施し、教職員の資質・指導力の向上を図っている。</li> <li>◆本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、研修の実施については、変更計画の策定に基づき、延期・中止・代替措置を検討した結果、基本研修36回、専門研修5回、計41回に加え、臨時研修を5回実施した。（9月30日現在）</li> <li>◆また、教育推進プランナーを中心にした経験年数の少ない教員の育成及び学校園運営の支援、校内研究・校内研修の支援等についても、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、学校訪問を自粛した結果、33回の訪問実施にとどまっている。（9月30日現在）</li> </ul>			

実績値及び目標の説明			年度	H30年度	R 1年度	R 2年度	
研修を受講した教職員が、その研修内容について、各学校園において会議等で実効的な伝達をしたり、授業等で効果的な実践をしたりした割合 (目標値の根拠)	実績値 (%)	目標値 (%)	達成割合 (%)	95.10	95.30	調査未実施 (9月30日現在)	
				100.00	100.00	100.00	
				95.10	95.30	調査未実施 (9月30日現在)	
研修の実質的効果							
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち				評価区分	
	市長公約	平成29年度市政運営方針					
	実行計画	平成28年度当初実行計画				区分の推移	
	関連計画	—					

3-②	授業の達人養成・教科研究事業	担当課	教育研修課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	300
概要			進捗状況		
<p>◆児童・生徒の確かな学力を育むため、高い指導力のある優れた教員の育成を図ることを目的とした「授業の達人養成講座」を実施。</p> <p>○授業の達人養成講座（※段階的に『達人』に認定するシステムを構築する）</p> <p>◆外部講師として年間を通じて大学教授等、教育のスペシャリストを招聘。</p> <p>◆教材研究、学習指導案の検討を行い、年間2回の研究授業（公開授業）を実施。</p> <p>◆先進地域、先進校への視察を実施。</p>			<p>◆豊かな人間性と高い専門性を有する優れた教員（「授業の達人」）を養成することを目標に、授業の達人養成講座を実施している。</p> <p>◆令和2年度は、2年継続研修の初年次として、『授業の達人養成講座』を年間12回実施予定としているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年9月末では、1回の研修実施となっている。10月以降、残りの研修回を実施するため計画的に準備を進めている。</p> <p>◆研修講座では、専門的な知識を有する外部講師を招いての講義・演習を通して、新学習指導要領に示されている資質・能力を育むための授業実践等についての理解を深めるとともに、受講者相互の実践交流を通して、自身の実践に生かすようにしている。</p> <p>◆また、受講者の授業を指導主事が参観し指導することで、実践的な指導力を高めている。</p>		

実績値及び目標の説明			年度	H30年度	R 1年度	R 2年度	
「授業の達人養成講座」の受講者の出席率 (目標値の根拠)	実績値 (%)	目標値 (%)	達成割合 (%)	82.90	87.00	100.00	
				100.00	100.00	100.00	
				82.90	87.00	100.00	
「授業の達人養成講座」の受講者の出席率が100%							
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち				評価区分	
	市長公約	—					
	実行計画	平成28年度当初実行計画				区分の推移	
	関連計画	—					

3-③	学校園活性化事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育指導課 公立保育幼稚園課
-----	-----------------------	-----	-------------------

## 基本方策4 「ともに学び、ともに育つ」教育の充実

障害のある子どもをはじめ、すべての子どもたちが学校・地域社会の中で積極的に交流・活動し、「ともに学び、ともに育つ」という観点から、障害への理解の促進や、ともに育ちあう集団づくり等を踏まえた教育を推進する必要があります。また、支援教育を進めるにあたっては、一人ひとりの自立に向けた効果的な指導・支援の充実が求められています。

障害のある子どもと障害のない子どもが交流や共同学習を通じ、ともに学び、互いを理解する教育を一層充実させる<sup>①</sup>とともに、通常の学級においてユニバーサルデザインによる授業づくりに取り組みます<sup>①</sup>。

障害のある子どもや、配慮を要する子どもに対する支援ツールとして、タブレット端末等のICTを活用するとともに、タブレット端末の入出力が困難な場合にも対応できるよう、音声文字変換や視線入力システム等の入出力支援装置の整備を進めます<sup>①</sup>。

また、平成28年4月施行の「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」を踏まえ、障害のある子ども一人ひとりのニーズに応じた教育環境の整備を進める<sup>①②④</sup>とともに、支援教育に関する教職員研修の充実に取り組みます<sup>③</sup>。

さらに、配慮を要する子どもについて、支援教育コーディネーターを中心として、より具体的な個別の教育支援計画の作成・見直しを行う<sup>①②④</sup>とともに、保護者、支援学校等の関係機関と連携し、支援が必要なすべての子どもについて全教職員の共通理解のもと、学校全体で支援教育の充実に取り組みます<sup>①②④</sup>。

### 主要事業の進捗状況

4-①	支援教育推進事業	担当課	教育支援推進室	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	213,998
概要		進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆通常の学級に在籍する発達障害等の児童・生徒への支援に関し、学校に専門家を派遣し指導・助言する。</li> <li>◆教育支援推進室職員が、学校園、保育所(園)、幼稚園、医療機関等を巡回し、就学相談を実施する。</li> <li>◆小・中学校の支援教育推進の中心となる支援教育コーディネーターの活動を支援するために、非常勤講師を加配する。</li> <li>◆肢体不自由児介助員を配置し、小・中学校の肢体不自由学級に在籍する児童・生徒の生活、訓練、学習等の介助を行う。</li> <li>◆学校看護師を配置し、医療的ケアを必要とする幼児・児童・生徒の学校園における日常生活を支援する。</li> <li>◆肢体不自由児童・生徒に対し理学療法士による専門的な機能回復訓練を実施する。併せて支援学級担任に対して日常訓練の指導・助言を行う。</li> <li>◆支援学級入級児童・生徒に対する備品購入及び新設支援学級の設備整備を行う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆通常の学級に在籍する発達障害等の児童・生徒への支援のため、氷室・津田南・交北・明倫小学校の4校に専門家を派遣し、指導・助言を行っている。</li> <li>◆教育支援推進室職員が、学校、保育所(園)、幼稚園、医療機関等を巡回し、就学相談を実施している。</li> <li>◆小中学校の支援教育の中心となる支援教育コーディネーターの活動を支援するために、非常勤職員を全小中学校に加配している。</li> <li>◆肢体不自由児介助員を20人配置し、小中学校の肢体不自由児学級に在籍する児童・生徒の生活、訓練、学習等の支援を行っている。</li> <li>◆学校看護師25人(会計年度任用職員学校臨時看護師)を配置し、医療的ケアを必要とする児童・生徒の学校における日常生活を支援している。</li> <li>◆肢体不自由児童・生徒に対し、理学療法士による専門的な機能回復訓練を実施している。合わせて支援学級担任に対して、日常訓練の指導・助言を行っている。</li> <li>◆支援学級入級児童・生徒に対する備品購入及び令和2年度に新設した支援学級の設備整備を検討し、必要な備品を購入している。</li> </ul>			

実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R 1 年度	R 2 年度
支援教育に関する専門的な知識・技能をもつ専門家の派遣回数		実績値 (回)	453	479	54
(目標値の根拠)		目標値 (回)	443	468	166
小・中学校専門家、幼稚園巡回相談、理学療法士等は予算範囲。リーディングチームは前年度実績の1割増。令和2年度からは、幼稚園巡回相談(323回)は公立保育幼稚園課管轄となる。		達成割合 (%)	102.26	102.35	32.53
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価区分
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			区分の推移
	関連計画	—			

4-②	通学困難児童・生徒通学等タクシー支援事業	担当課	教育支援推進室	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	3,158
概要		進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆小・中学校に在籍する肢体不自由児や腎炎・ネフローゼ児等通学が困難な児童・生徒のタクシー利用による通学費用に対して、支援金の交付を行う。</li> <li>◆市内に在住する支援学校等に在籍する通学が困難な児童・生徒のタクシー利用による通学費用に対して、支援金の交付を行う。</li> </ul>		◆毎日利用の児童・生徒9人、雨天時利用の児童・生徒27人に対して、支援金を交付している。			
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R 1 年度	R 2 年度
タクシーを利用した児童・生徒の人数		実績値 (人)	36	40	36
(目標値の根拠)		目標値 (人)	33	30	31
年度当初の通学タクシー利用申請人数		達成割合 (%)	109.09	133.33	116.13
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価区分
	市長公約	—			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			区分の推移
	関連計画	—			

4-③	枚方市教職員育成事業【再掲】※基本方策3に記載	担当課	教育研修課
-----	-------------------------	-----	-------

4-④	幼児支援教育推進事業		担当課	公立保育幼稚園課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	31,214
概要			進捗状況			
<p>◆幼稚園巡回相談を実施し、発達障害等があり教育的支援を必要とする幼児への個に応じた指導について、専門的な知識・技能をもつ相談員を市立幼稚園及び市内の私立幼稚園・認定こども園に派遣する。相談員が教職員への指導・助言を行うとともに保護者からの教育相談に応じることにより、各園及び家庭との連携を通して、支援教育の一層の充実を図る。</p> <p>◆就学前の幼児を対象とした言語訓練指導（ことばの教室）を実施し、吃音、構音障害など、主に言語の障害のある5歳児を対象に、元小中学校通級指導教室担当の指導員が個別指導を行う。</p> <p>◆幼稚園に在籍する個別の支援や配慮を要する幼児への指導・支援に関し、支援教育担当及び生活支援員を配置する。また、医療的ケアを必要とする園児への日常生活の支援をする為、看護師を配置する。</p>			<p>◆市内の公私立幼稚園及び認定こども園に対し、相談員を派遣した回数：143回</p> <p>◆ことばの教室の実施回数：116回</p> <p>◆生活支援員の配置状況：26名 支援教育担当の配置状況：19名 医療的ケア看護師の配置状況：3名 (9月30日現在)</p> <p>◆発達障害等があり教育的支援を必要とする幼児や保護者に対して相談員を派遣するとともに、主に言語の障害のある5歳児を対象とした言語訓練指導を実施している。</p> <p>◆また、支援等が必要な幼児に対し、支援教育担当職員及び生活支援員を配置するとともに、医療的ケアを必要とする幼児に対して日常生活を支援するための看護師を配置している。</p> <p>◆今後も引き続き、配慮の必要な幼児や保護者に対し、支援を行っていく。</p>			
実績値及び目標の説明			年度	H30年度	R1年度	R2年度
保護者のニーズ（申し込み）に対する各支援事業の実施率			実績値（%）	100.00	100.00	100.00
			目標値（%）	100.00	100.00	100.00
（目標の根拠）			達成割合（%）	100.00	100.00	100.00
ニーズ（申し込み）に対する実施率100%						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価 区分	/		
	市長公約	—				
	実行計画	—	区分の 推移			
	関連計画	—				

# 基本方策5 幼児教育の充実

少子化の進行、核家族化や男女共同参画社会の進展、ひとり親家庭の増加等、子どもの育ちや子育て支援へのニーズが多様化する中で、子どもの生きる力と個性を育む環境が求められています。幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を養う重要なものであり、様々な体験を通して幼児が心身ともに健やかな成長をとげられるよう、幼児一人ひとりの発達や特性に応じた取組を進める必要があります<sup>①</sup>。

幼児教育の目的は「生涯にわたる人格形成の基礎を養う」ことであり、令和元年度から市立幼稚園で拡充した3歳児保育などに引き続き取り組みながら、「幼稚園教育要領」にある、自立心や協同性、道徳性などの「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を実現するため、幼児一人ひとりの望ましい発達を育むとともに、学級集団に応じた適切な指導を行います<sup>①②③</sup>。また、幼児期（幼稚園・保育所（園）・認定こども園等）と児童期（小学校）の教育の円滑な接続・連携を図り、学びや発達の連続性を踏まえた取組を推進します<sup>①②</sup>。

加えて、幼稚園の預かり保育については、実施時間の延長などの充実を図ってきており、今後も引き続き、保護者の心身のリフレッシュや就労等のニーズに対応できるよう取り組みます<sup>④⑤</sup>。

また、地域の未就園児も含めた親子での遊びの場の提供や、保護者交流の場の提供、さらには子育て相談の取組を推進します<sup>④</sup>。

## 主要事業の進捗状況

5-①	幼児教育充実事業	担当課	公立保育幼稚園課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	686
概要		進捗状況			
◆幼児教育の充実を図ることを目的とし、小学校へのなめらかな接続をめざした幼小連携の推進や、幼児に豊かな心を育む多様な体験の機会の提供、また、地域の幼児教育のセンター的な役割が果たせるよう、親子で参加できるイベントや子育て講座の開催、育児相談等に取り組む。		◆小学校の空き教室での給食体験や、校庭での散歩やどんぐり拾いなど、幼児が小学校生活に期待や親しみが持てるような活動を、新型コロナウイルス感染拡大防止に留意しながら実施している。 また、併せて幼小連携推進に関する職員間での打ち合わせや、支援を要する幼児の進学に向けての連携会議を実施している。 (9月30日現在) ◆8月に各幼稚園にて見学会を実施し、市立幼稚園の施設や保育内容について広く周知できる機会をつくった。また、園開放や幼児教育教室に参加する保護者からの育児相談に応じ、発達や親子関係の悩み、また幼稚園選びの相談などにも応じた。			
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度
幼稚園と小学校との円滑な接続に資する事業を実施した園数 (目標値の根拠)		実績値 (園)	7	7	7
		目標値 (園)	7	7	7
市立全7幼稚園		達成割合 (%)	100.00	100.00	100.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え豊かな心を育むまち 施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			評価区分
	市長公約	—			
	実行計画	—			区分の推移
	関連計画	—			

5-②	学校園活性化事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育指導課 公立保育幼稚園課
-----	-----------------------	-----	-------------------

5-③	学校支援社会人等指導者活用事業【再掲】※基本方策2に記載	担当課	教育指導課 公立保育幼稚園課
-----	------------------------------	-----	-------------------

5-④	幼稚園保護者支援充実事業	担当課	公立保育幼稚園課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	85,704
-----	--------------	-----	----------	-----------------------------	--------

概要		進捗状況		
◆幼稚園で預かり保育を実施し、幼児の心身の健全な発達を促すとともに、幼児教育の充実と保護者の子育て支援及び就労支援の充実を図る。また、幼稚園を、2・3歳の未就園児及び保護者が、安心して遊び、交流できる場として幼児教育教室を実施し、家庭の教育力を高めるとともに、子育て不安の軽減等を図る。		◆預かり保育は延べ921日実施し、延べ9,948人が利用している。(9月30日現在) ◆幼児教育教室は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、6月までは実施を控え、7月から参加人数を調整しながら実施している。なお、延べ77日間実施し、延べ587人が利用している。(9月30日現在)		

実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度
保護者のニーズ(申し込み)に対する幼児教育教室及び預かり保育実施率 (目標値の根拠)	実績値(%)		100.00	100.00	100.00
	目標値(%)		100.00	100.00	100.00
ニーズ(申し込み)に対する実施率100%	達成割合(%)		100.00	100.00	100.00

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち	評価区分	/
	市長公約	—		
	実行計画	—	区分の推移	
	関連計画	第2期枚方市子ども子育て支援事業計画		

5-⑤	市立幼稚園における3歳児保育実施事業	担当課	公立保育幼稚園課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	686
-----	--------------------	-----	----------	-----------------------------	-----

概要		進捗状況		
◆幼児教育の充実を図ることを目的とし、小学校へのなめらかな接続をめざした幼小連携の推進や、幼児に豊かな心を育む多様な体験の機会の提供、また、地域の幼児教育センター的な役割が果たせるよう、親子で参加できるイベントや子育て講座の開催、育児相談に取り組む。		◆引き続き、市立幼稚園6園(枚方・香里・樟葉・高陵・蹉跎・田口山)において3歳児保育を実施するため、令和3年4月入園予定の園児のための募集要項等を作成するとともに、ホームページや広報での周知に取り組んでいる。 ◆また一部の幼稚園においては、預かり保育を利用するための抽選を実施し、利用者の決定を行った。(9月30日現在)  (参考) 1次募集での決定人数:115人		

実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R 1 年度	R 2 年度
3 歳児保育に対する入園児数  (目標値の根拠)		実績値 (人)	139	137	調査未実施 (9月30日現在)
		目標値 (人)	160	150	150
令和2年度3歳児定員		達成割合 (%)	86.88	91.33	調査未実施 (9月30日現在)
関連 計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え豊かな心を育むまち 施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			評価 区分
	市長公約	—			
	実行計画	平成30年度9月補正実行計画			区分の 推移
	関連計画	就学前の教育・保育施設に係るひらかたプラン 第2期枚方子ども子育て支援事業計画			

## 基本方策6 社会に開かれた学校づくりの推進

近年、子どもを取り巻く環境が大きく変化しており、未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、学校、家庭及び地域がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で教育に取り組む体制づくりが必要であり、保護者や地域住民とともに学校運営を進める「社会に開かれた学校づくり」の推進が求められています。

保護者や地域住民の理解や協力を得て、各学校において特色ある教育活動を展開していくため、子どもが抱える課題を地域ぐるみで解決する仕組みやコミュニティ・スクール等、学校運営に地域住民や保護者が参画する体制の構築に取り組めます<sup>①</sup>。また、子どもたちに求められる資質・能力とは何かを社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」の実現に取り組めます。

学校園の信頼の醸成や課題解決の促進のため、全国学力・学習状況調査の結果や分析をはじめ、「学校いじめ防止基本方針」や校内における相談体制等について、ホームページに掲載するなど、学校の取組や子どもの状況等の情報を積極的に公表し、地域や保護者等との協力関係の構築へつなげていきます<sup>①</sup>。また、学校と保護者との連絡体制について、ミルメールの改善、双方向の連絡手段の構築に取り組めます。

教育に関わる課題が多様化・複雑化する中、より地域や保護者との協力関係を築きながら、学校の組織としてのあり方の見直しや業務の改善を進める<sup>①</sup>ことで、「チーム学校」としての機能を果たせるよう、学校園ガバナンスの確立に取り組めます。

### 主要事業の進捗状況

6-①	コミュニティ・スクール推進事業	担当課	教育指導課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	3,027
概要		進捗状況			
◆保護者や地域住民等から構成され、学校運営や運営への必要な支援に関して協議する枚方におけるコミュニティ・スクールを小学校に順次に設置する。また、研究会等を開催し、枚方におけるコミュニティ・スクールの実践事例の紹介、設置校の取組の発信を行い、「地域とともにある学校づくり」を推進する。		◆前年度までに設置した27校に加え、今年度新たに18校において学校運営協議会を設置して、45小学校すべてをコミュニティ・スクールとしている。 ◆今後、実践事例の紹介や各校の取組についての情報を発信するとともに、「地域とともにある学校づくり」を推進していく。			
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度
「コミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか」に対して強い肯定的回答の割合 (目標値の根拠) 強い肯定的回答の割合100%		実績値 (%)	100.00	100.00	100.00
		目標値 (%)	100.00	100.00	100.00
		達成割合 (%)	100.00	100.00	100.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価区分
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針、令和元年度所信表明			
	実行計画	平成30年度当初実行計画			区分の推移
	関連計画	—			

## 基本方策7 学びのセーフティネットの構築

近年、登下校時の交通事故や不審者等により子どもが犠牲となる事件・事故が生じており、子どもが安全で安心して学べる環境づくりが求められています。

また、インターネット等によるいじめや、学校生活や家庭環境など様々な理由による不登校等、生徒指導上の課題が深刻化する中、子どもたちが安全に安心していきいきと学校での時間を過ごせる環境づくりが必要です。

子どもが安全で安心して学べる環境づくりに向けて、オートロックや機械警備等による学校施設内の安全確保<sup>①</sup>や、地域で行われている子どもの安全を見守る活動との連携のほか、防犯カメラや、専用端末を使用した子どもの位置情報履歴確認サービス等による通学路の安全対策の強化を図ります<sup>②</sup>。また、不審者情報等の緊急情報を保護者にメールで配信するシステムを有効活用する<sup>②</sup>とともに、同システムの改善を通じて安全・安心な体制の構築に努めます。

さらに、近年の子どもが巻き込まれた事件・事故や、大規模災害の教訓を生かし、子ども自らが危険を回避する能力を養う安全・防災教育を推進します<sup>②</sup>。

新型コロナウイルス感染症等への対応として、必要な消耗品等の配備や、消毒作業の実施など、状況に応じた安全対策を図るとともに、子どもたちには、自分や周囲の大切な人を守るための実践力を育てます。

いじめは重大な人権問題であるとの認識のもと、被害者が精神的苦痛や不安を克服できるよう支援するとともに、加害者への教育的配慮等、学校園において誠実かつ丁寧に組織的対応を行います<sup>③④⑤⑦⑧⑩</sup>。いじめの防止、早期解決に向けては、SSW等の専門家に加え、新たに市が委嘱するスクールロイヤーを活用します<sup>④⑩</sup>。

児童・生徒の不登校の兆しにも留意しながら、より一層の未然防止に努めます<sup>⑥⑦⑧⑩</sup>。あわせて、不登校児童・生徒への対応としては、登校しやすい学校づくりを進めるとともに、社会的自立をめざし学校への復帰以外の選択肢があることを含め、一日も早く社会との関わりを取り戻すことができるよう支援を進めます<sup>⑥⑦⑨</sup>。また、これまでの対応に加え、ICT等を活用した学習活動など個に応じた取組を進めます。

子どもの貧困対策については、子育て家庭への経済的な負担軽減や学習支援、相談支援など様々な施策を横断的かつ重層的に活用しながら、適切な支援を進めます<sup>⑦⑩</sup>。

また、不登校やひきこもり、児童虐待、子どもの貧困等、支援を必要とする児童・生徒に関わる様々な事象に対しては、未然防止や早期対応ができるよう、行政各分野が持つ子どもの情報の共有化を適切に進めるとともに、今後、制定する「(仮称)子どもを守る条例」を踏まえながら、関係部署、関係機関、地域とともに総合的な取組を進めていきます<sup>④⑥⑩</sup>。

### 主要事業の進捗状況

7-①	小学校安全監視事業	担当課	学校安全課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	33,500
概要		進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆全小学校の正門に設置した監視カメラ、正門のオートロック装置に連動したワイヤレスモニター子機付きインターホン及び監視カメラの映像を録画するデジタルレコーダーを活用し安全監視を実施する。</li> <li>◆来校者の多い時間帯や児童の下校時間に人的配置を行い、人の目による安全監視を行う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆児童の安全・安心な学習環境の確保を行うために、監視カメラ等の機器などの修繕等を必要に応じて行っている。</li> <li>◆来校者の多い時間帯や児童の下校時間帯等では、機器の活用だけではなく安全監視員などを配置し、人の目による監視を行い、子どもの安全を確保する環境を維持している。</li> </ul>			

実績値及び目標の説明			年度	H30年度	R 1年度	R 2年度	
児童在校中の小学校への不審者の侵入件数			実績値 (件)	0	0	0	
			目標値 (件)	0	0	0	
(目標値の根拠)							
全小学校の侵入事案なし			達成割合 (%)	100.00	100.00	100.00	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち				評価 区分	/
	市長公約	—					
	実行計画	—				区分の 推移	
	関連計画	—					

7-②	通学路等安全対策事業		担当課	学校安全課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	22,996	
概要			進捗状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆交通量が多く、信号機のない横断歩道や踏切等の通学路の危険箇所に対して、交通専従員、交通指導員を配置し、児童の登下校の安全を図っている。関係機関と連携し、児童の通学環境の改善に取組、交通専従員、交通指導員の効率的・効果的な配置を行う。</li> <li>◆関係機関と連携した通学路の合同点検を実施する。</li> <li>◆学校園において、危機管理マニュアルを見直し、実践的な避難訓練を実施する。</li> <li>◆学校園において、メール配信システムを活用し、不審者情報や暴風警報等発令時の具体的な対応を関係機関、保護者に提供する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>◆小学校18校(30箇所)に59人の交通専従員・交通指導員を配置し、登下校の安全確保を図っている。今後、現在の配置箇所及び危険箇所の現地調査を行い、来年度の配置箇所を精査していく。</li> <li>◆小学校を通じて報告のあった危険箇所を、「枚方市通学路交通安全プログラム」に基づき、道路管理者、教育委員会、警察署等で構成する通学路安全対策連絡会議で協議を進めている。合同点検については今後実施予定。</li> <li>◆市として統一した地震発生時の対応マニュアル及び大雨警報等発表時の対応マニュアルを策定し、各学校ではその内容も含めて策定した危機管理マニュアルに基づき、実践的な避難訓練を順次実施している。</li> <li>◆不審者情報等を入手した際は、各学校園および警察等の関係機関に情報提供を行い、各学校から保護者に対してメール配信システムを活用することで、緊急の情報を提供している。また、暴風警報等発令時には、教育委員会から各学校に通知するとともに、各学校から保護者にメール配信することで、全小中学校が統一した対応をとれる仕組みを整えている。</li> </ul>				
実績値及び目標の説明			年度	H30年度	R 1年度	R 2年度	
交通専従員、交通指導員の配置人数 (信号機の設置等で安全確保できたところから、交通指導員等を順次廃止する。)			実績値 (人)	57	59	59	
			目標値 (人)	58	57	59	
(実績値) 配置人数 (目標値) 前年度実績 (達成割合) 配置人数に対する削減状況(配置割合)			達成割合 (%)	101.72	96.49	100.00	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち				評価 区分	/
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針					
	実行計画	平成28年度当初実行計画				区分の 推移	
	関連計画	—					

7-③	生徒指導充実事業	担当課	教職員課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費を含む	48,994
概要			進捗状況		
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆生徒一人ひとりの状況に応じた支援や指導をするため、生徒指導主事は、スクールカウンセラー等とより緊密に連携し、専門的な立場からアドバイスを受け、担任や学年に対しての指導・助言に当たる。教員は、生徒たちへの接し方を工夫し、一人ひとりに対してよりきめ細かな指導を行う。</li> <li>◆生徒指導体制を強化する必要があると認められる学校に加配講師を配置することにより、授業が軽減された生徒指導主事が中心となり、生徒の実態を踏まえた人権教育等を充実させたり、いじめや暴力行為などの問題行動に対して迅速かつ適切に指導を行う。</li> <li>◆各学校において策定のいじめ防止基本方針に基づき枚方市生徒指導マニュアル(いじめ防止編)を用いた教職員の研修及び児童・生徒に対するいじめアンケートの実施、枚方市生徒指導マニュアル(体罰防止編)を用いた教職員の研修等により、いじめの未然防止と体罰の根絶に努める。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>◆加配希望があった学校からの調書等、複数の観点から精査した結果、令和2年度は中学校7校に市費負担任期付教員を1人ずつ配置し、1校には非常勤講師1人を配置している。現在、生徒指導主事が中心となって、生徒の実態を踏まえた人権教育等を充実させたり、いじめや暴力行為などの問題行動に対して関係機関と連携し、迅速かつ的確に指導を行っている。</li> <li>◆年度当初及び例年は夏季休業期間中等に、枚方市生徒指導マニュアル(いじめ編)(体罰防止編)等を用いた教職員研修を実施し、いじめの未然防止と体罰の根絶に努めている。</li> <li>◆加配講師(任期付講師)配置校 令和2年度 学校名 津田中、枚方中、中宮中、桜丘中、さだ中、招提北中、第二中</li> </ul>		
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度
任期付講師配置校における暴力行為の発生件数		実績値(件)	48	31	23
(目標値の根拠)		目標値(件)	51	43	28
暴力行為発生件数が前年度より10%減少		達成割合(%)	105.88	127.91	117.86
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子供たちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価区分
	市長公約	—			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			区分の推移
	関連計画	—			

7-④	いじめ問題対策事業	担当課	教育支援推進室	事業費計 予算額 (千円) ※人件費を含む	853
概要			進捗状況		
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆枚方市の関係部課と外部関係機関に属する者で構成される枚方市いじめ問題対策連絡協議会の定例会を年3回開催する。</li> <li>◆枚方市学校いじめ対策審議会定例会を年2回開催する。また、必要に応じて臨時会を開催する。</li> <li>◆「ストップ!いじめ」全小・中学校の新入生の保護者を対象に、いじめ問題に対する啓発冊子として配付。</li> <li>◆枚方市いじめ防止基本方針の改定及び概要版の作成・配付。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>◆枚方市いじめ問題対策連絡協議会の定例会を例年3回実施している。今年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、1回目は書面開催。2回目は10月30日に実施した。次回は1月29日に開催予定。</li> <li>◆枚方市学校いじめ対策審議会は、定例審議会を8月25日に開催した。</li> <li>◆ひらかた学校応援チームで学校園を訪問し、学校における問題解決のための支援を行っている。</li> <li>◆家庭と連携した「いじめ問題」防止の啓発のため、4月に「ストップ!いじめ」を全小・中学校の新入生保護者に配付した。</li> <li>◆枚方市いじめ防止基本方針に基づき、引き続き、いじめの未然防止、早期発見・早期解消に向けて取り組んでいる。</li> <li>◆各学校においては、学期に1回以上、児童・生徒に対するいじめアンケートと教育相談を実施し、いじめの未然防止に努めた。また、生じたいじめ事案は組織的に対処し、解消に向け、取り組んでいる。</li> </ul>		

実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R 1 年度	R 2 年度
認知したいじめの解消率		実績値 (%)	80.60	99.65	調査未実施 (9月30日時点)
(目標値の根拠)		目標値 (%)	100.00	100.00	100.00
年度内に小・中学校において認知したいじめを100%解消する。 小学校と中学校ではいじめの認知件数に差はあるが、ここでは小・中学校合わせた解消率とする。		達成割合 (%)	80.60	99.65	調査未実施 (9月30日時点)
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価区分
	市長公約	平成28・29・30年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			区分の推移
	関連計画	—			

7-⑤	スクールアドバイザー派遣事業	担当課	教育支援推進室	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	240
概要		進捗状況			
<p>○スクールアドバイザーの業務</p> <p>◆事件、事故等緊急を要する事例に対しての派遣を行っている。</p> <p>○スクールアドバイザーとして派遣する者</p> <p>◆臨床心理士等の専門的な知識・経験を有する者の中から、教育支援推進室が依頼した者</p>		◆令和2年度は、6校(2小学校、4中学校)に延べ8回アドバイザーを派遣している。(9月30日現在)			
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R 1 年度	R 2 年度
スクールアドバイザーの派遣要請に対して、実際にスクールアドバイザーを派遣した割合		実績値 (回)	32/32	21/21	8 / 8
(目標値の根拠)		目標値 (%)	100.00	100.00	100.00
派遣要請に対して、実際に派遣した割合が100%		達成割合 (%)	100.00	100.00	100.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価区分
	市長公約	—			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			区分の推移
	関連計画	—			

7-⑥	不登校児童・生徒支援事業		担当課	教育支援推進室	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	13,184
概要			進捗状況			
<p>◆不登校の兆候が見えた児童・生徒に対して、その要因や背景に応じた適切な支援を行うことにより、不登校の未然防止に努めるとともに、不登校児童・生徒に対して、校内適応指導教室などを活用して、教育相談や学習支援などを行い、不登校児童・生徒に対する適切な支援を行う。</p> <p>◆枚方市不登校支援協力員連絡会を開催し情報交換を図る。</p> <p>◆月1回中学校区ごとに小中学校間の情報交流を行う。</p>			<p>◆不登校の兆候が見えた生徒に対して、その要因や背景に応じた適切な支援を行うことにより、不登校の未然防止に努めた。不登校生徒に対しては、不登校支援協力員により、校内適応指導教室などを活用して、教育相談や学習支援を行っている。</p> <p>◆市内全中学校と7小学校に不登校支援協力員を配置し、不登校の未然防止に取り組むとともに、不登校生徒の要因や背景に応じた適切な支援を行っている。</p> <p>◆新たな不登校を生まない取組として、生徒指導主事やこども支援コーディネーターと連携して情報共有を図っている。</p> <p>◆枚方市不登校支援協力員連絡会を例年年間3回実施している。</p> <p>◆枚方市小・中学校生徒指導連絡会を例年年間11回開催している。 連絡会については、令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止している。</p>			
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
市内全中学校における不登校出現率(5月1日現在の全中学校在籍人数に対して、不登校の欠席が30日以上の子どもの合計)		実績値 (%)	4.23	4.54	1.45 (1学期末現在)	
		目標値 (%)	3.36	4.00	3.97	
(目標値の根拠)		達成割合 (%)	74.11	86.50	163.48 (1学期末現在)	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価区分	/
	市長公約	平成28・29年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			区分の推移	
	関連計画	—				

7-⑦	教育相談事業		担当課	教育支援推進室	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	9,919
概要			進捗状況			
<p>○子どもの笑顔を守るコール(いじめ専用ホットライン・教育安心ホットライン)</p> <p>◆幼児・児童・生徒やその保護者等に対する電話による教育相談を行う。(平日 9:00~17:00)</p> <p>○継続教育相談</p> <p>◆幼児・児童・生徒やその保護者等に対する面談による教育相談を行う。(要予約 月~金)</p> <p>○メンタルヘルス相談</p> <p>◆教職員に対するメンタルヘルス相談を行う。(要予約 月・金の午後)</p>			<p>◆幼児・児童・生徒やその保護者等に対する電話及び面談による教育相談、また、教職員のメンタルヘルス電話相談を行うことにより、それぞれが抱える課題等について適切に対応している。</p>			

実績値及び目標の説明			年度	H30年度	R 1 年度	R 2 年度	
電話、来館による年間相談延べ件数（子どもの笑顔を守るコール+教育文化センター内での継続教育相談+教育文化センター内でのメンタルヘルス相談）			実績値 (件)	1,888	1,840	848	
(目標値の根拠)			目標値 (件)	1,902	1,883	1,840	
子どもの笑顔を守るコール、継続教育相談、メンタルヘルス相談の延べ件数の前年度実績			達成割合 (%)	99.26	97.72	46.09	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち				評価区分	
	市長公約	—					
	実行計画	平成28年度当初実行計画				区分の推移	
	関連計画	—					

7-⑧	「心の教室相談員」配置事業		担当課	教育支援推進室	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	8,750	
概要			進捗状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆全小学校に、「心の教室相談員」を配置し、児童・保護者に対する教育相談及び教職員への助言を行う。</li> <li>◆相談員を、児童数に応じて、1校につき年間38回派遣する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>◆全45小学校に「心の教室相談員」を配置し、児童・保護者に対する教育相談及び教職員への助言を行っている。</li> <li>◆相談員を児童数に応じて、1校につき37回程度派遣している。</li> </ul>				
実績値及び目標の説明			年度	H30年度	R 1 年度	R 2 年度	
心の教室相談員の年間総配置回数			実績値 (回)	1,373	1,631	714	
(目標値の根拠)			目標値 (回)	1,395	1,620	1,665	
【H30年度】 小学校1校あたりの平均配置回数を31回			達成割合 (%)	98.42	100.68	42.88	
【R 1 年度】 小学校1校あたりの平均配置回数を36回							
【R 2 年度】 小学校1校あたりの平均配置回数を37回							
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち				評価区分	
	市長公約	—					
	実行計画	平成28年度当初実行計画				区分の推移	
	関連計画	—					

7-⑨	適応指導教室事業		担当課	教育支援推進室	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	10,273
概要			進捗状況			
<p>○入室児童・生徒</p> <p>◆学習活動・体験活動・創作活動等、社会的自立をめざした支援・指導を行う。</p> <p>○訪問指導</p> <p>◆学生指導員が家庭訪問を行い、主体的な活動への支援を行う。</p> <p>○馬とのふれあい体験</p> <p>◆馬の世話を通して、不登校状態にある児童・生徒の指導・支援を行う。</p>			<p>○入室児童・生徒</p> <p>◆主に、心理的要因で不登校状態にある児童・生徒に対し、教育文化センターに設置している適応指導教室「ルポ」で学習支援、グループ活動、カウンセリング、保育体験、福祉体験、馬とのふれあい体験などを通し、支援・指導を行っている。前期の保育体験は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止。</p> <p>○訪問指導</p> <p>◆訪問指導において、保護者の悩みを聴くとともに、生徒の状況に良い変化を見て取ることができた。学生指導員と担当指導主事は、毎週水曜日、10時から2時間程度家庭訪問を実施している。</p> <p>○馬とのふれあい体験</p> <p>◆「セルフわらしべ」にて、6日間、延べ5人 参加予定。 ①令和2年10月27日～29日の3日間 ②令和3年2月2日～4日の3日間</p>			
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
適応指導教室「ルポ」への入室基準を満たし、登室を承認された児童・生徒が、登室した割合  (目標値の根拠)		実績値 (%)	77.70	87.50	81.82	
		目標値 (%)	100.00	100.00	100.0	
「ルポ」への登室100%		達成割合 (%)	77.70	87.50	81.82	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価 区分	/
	市長公約	平成28年度・平成29年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			区分の 推移	
	関連計画	—				

7-⑩	スクールソーシャルワーカー（SSW）活用事業	担当課	教育支援推進室 子どもの育ち見守りセンター	事業費計 予算額 （千円） ※人件費を含む	11,587
概要			進捗状況		
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆配置または派遣する学校の教職員とのチーム体制によるケース対応</li> <li>◆教職員と連携した校内ケース会議のファシリテーションや福祉的手法に基づく教職員への相談援助</li> <li>◆小中合同ケース会議等、小・中学校教職員が協働した小・中学校間連携の推進</li> <li>◆学校と関係機関等との連携のコーディネート</li> <li>◆中学校派遣のスクールカウンセラーとの連携</li> <li>◆小中一貫教育を見据えた系統性・継続性のある生徒指導体制の構築</li> <li>◆子どもの育ち見守りセンター等が開催する研修会、連絡会等への参加</li> <li>◆スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザーは、スクールソーシャルワーカーへの指導助言</li> <li>◆ひらかた学校応援チーム：教育推進プランナーまたは子どもの未来応援コーディネーターとともに、子どもの育ち見守りセンター所属の保健師及び臨床心理士が、学校を巡回し、児童・生徒の様子や学校の状況について確認・助言</li> <li>◆その他、教育長が認める事項に関すること</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>◆SSWは校内チーム体制を組んで福祉部門等と連携しながら、ケース対応を行っている。</li> <li>◆8中学校区及び適応指導教室に社会福祉士または精神保健福祉士の資格を有するSSWを配置しており、校内チーム体制を構築しながら、教職員とともにケース対応や、必要に応じて関係機関等との連携のコーディネートを行っている。</li> <li>◆SSWは配置された学校において、福祉的手法の助言や校内または拡大ケース会議のファシリテーションを行っている。この中で、関係機関やスクールカウンセラー等とも連携している。</li> <li>◆ひらかた学校応援チームの活動は9月末時点で57回実施している。各学校の課題に対する助言や、必要に応じてスクールソーシャルワーカーの緊急派遣の提案を行っている。なお、スクールソーシャルワーカーの緊急派遣依頼は9月末時点で18回ある。</li> <li>◆緊急派遣先の学校においては、校内ケース会議・拡大ケース会議への参加や関係機関等との連携のコーディネートなどを行っている。</li> <li>◆枚方市子どもの育ち見守りセンターが主催する連絡会等は9月末時点で4回実施している。</li> <li>◆スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザーのスクールソーシャルワーカー及び学校への指導助言は9月末時点で13回実施している。</li> </ul>		
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度
スクールソーシャルワーカー等の活動回数  (目標値の根拠)		実績値 (回)	868	369	217
		目標値 (回)	932	507	507
SSW・SV 12回、SSW9人×55回		達成割合 (%)	93.13	72.78	42.81
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価 区分
	市長公約	平成28・29年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			区分の 推移
	関連計画	—			

## 基本方策8 学びを支える教育環境の充実

少子化の進行による児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化が進む中で、学校施設の更新や教育の情報化の推進等、より安全で充実した教育環境が求められています。また、教職員の多忙化が課題となる中で、教職員が授業や子どもたちと向き合う時間を確保するための取組が必要です。

令和2年3月に策定した「枚方市学校整備計画」に基づき、トイレの洋式化・ドライ化や校舎の長寿命化改修などの計画的な整備を進めます<sup>①②</sup>。

空調設備については、令和2年度で終了する「枚方市学習環境整備PFI事業」の検証を踏まえ、令和3年度以降、より効果的・効率的な維持管理・更新を行うとともに、学校体育館への空調設備の計画的な整備が図られるよう取り組みます<sup>②</sup>。また、適正な学校規模とする学校配置等の適正化に取り組みます<sup>③</sup>。

また、ICTを効果的に活用したわかりやすく深まる授業や個に応じた家庭学習の充実を実現するため、教職員・児童・生徒に対し、一人一台のタブレット端末や周辺機器等を配備するなど、教育の情報化を推進します<sup>④</sup>。

また、教育委員会と学校とが、今まで以上に一体となって学校運営を進めていくため、ICT等を活用したより効率的な情報共有や連絡体制の確立をめざします。

さらに、教職員が子どもと向き合い、指導に専念できる時間をより多く確保するため、ICTを活用し通知表や指導要録等の事務処理を軽減する<sup>⑤</sup>とともに、より効果的・効率的な学校運営に向けての見直しや、教職員の健康保持等、勤務環境の整備に取り組みます。

衛生面に配慮した安全で安心な給食を安定的に提供する<sup>⑥</sup>ため、老朽化が進む小学校給食調理場の計画的な更新整備に取り組みます<sup>⑦</sup>。

### 主要事業の進捗状況

8-①	学校園施設維持補修事業	担当課	まなび舎整備室 施設管理課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	2,195,412
概要		進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「枚方市学校整備計画」に基づいた保全工事及びトイレ整備を行う。トイレ整備における洋式化、ドライ化、ユニバーサル化については、令和5年度までの整備完了に向けて取り組む。</li> <li>◆安全対策及び学校からの要望に基づいた改修工事を行う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「枚方市学校整備計画」に基づいた保全工事予定32件の内、3件が未実施、7件の工事が完了しており、施工中の22件の内、校舎の外壁改修を含む5件は、新型コロナウイルスによる換気確保のため外壁改修を取りやめ、工事内容を変更して実施中。</li> <li>また、トイレ整備工事予定10件の内、8件を実施しているが、中学校の教室棟トイレの2件は、夏休み期間短縮の影響により実施できていない。</li> <li>◆安全対策及び学校からの要望に基づいた改修工事予定3件の内、1件を実施中、2件は、夏休み期間短縮の影響により実施できていない。</li> <li>また、消防設備や防災設備の改修等に係る緊急工事3件を実施している。(9月30日現在)</li> </ul>			
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度
(目標値の根拠)		実績値 (件)	43	68	41
		目標値 (件)	45	52	45
保全計画等の施工予定件数		達成割合 (%)	95.55	130.77	91.11

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価区分	/
	市長公約	平成30年度市政運営方針、令和元年度所信表明		
	実行計画	平成28年度当初実行計画	区分の推移	
	関連計画	枚方市市有建築物保全計画		

8-②	学校施設整備事業	担当課	まなび舎整備室 施設管理課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	1,048,234
概要		進捗状況			
◆平成27年3月に策定した枚方市学校施設整備計画にトイレ整備事業および枚方市市有建築物保全計画を一元化することで、より効率的な施設整備を図るとともに、コスト縮減や財政負担の平準化を考慮するものとして、新たに「枚方市学校整備計画」を令和2年3月に策定し、学校施設の総合的かつ計画的な整備や保全の推進に向けて、取組を進める。		◆長寿命化改修工事について、香里小学校、津田中学校では引き続き工事を実施中。樟葉小学校については、新型コロナウイルスによる夏休み期間短縮の影響、及び換気確保のために未実施。(9月30日現在)			
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度
基本設計・実施設計を実施した学校数  (目標値の根拠)		実績値 (校)	5	5	5
		目標値 (校)	5	5	5
枚方市学校施設整備計画の第1期実施計画(前期)の整備校数		達成割合 (%)	100.00	100.00	100.00

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価区分	/
	市長公約	平成29年度市政運営方針		
	実行計画	平成28年度当初実行計画	区分の推移	
	関連計画	枚方市学校施設整備計画		

8-③	学校規模等適正化事業	担当課	学校安全課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	446
概要		進捗状況			
◆将来における適正な学校の配置等を進めるため、審議会での答申を踏まえ、基本方針を策定し学校統合に向けた取組を進める。		◆「枚方市学校規模等適正化基本方針」に基づき、高陵小学校と中宮北小学校の学校統合に向けて、保護者や地域コミュニティと協議等を行っている。 ◆また、今年度中に両校区において説明会等を実施する予定としており、令和3年4月に統合協議会(仮称)の発足に向け取り組んでいる。			
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度
実施プランの策定  (目標値の根拠)		実績値 (%)	0.00	0.00	0.00
		目標値 (%)	100.00	100.00	100.00
実施プラン策定に関する実績		達成割合 (%)	0.00	0.00	0.00

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価区分	/
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針、令和元年度所信表明		
	実行計画	平成28年度当初実行計画	区分の推移	
	関連計画	—		

8-④	学校ICT機器等整備業務【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育指導課
-----	---------------------------	-----	-------

8-⑤	校務の情報化推進事業	担当課	教育指導課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	80,249
概要		進捗状況			
◆校務支援システムを更新し、学校における児童・生徒の情報を電子化して一元管理し、その情報を通知表、指導要録、出席簿等の作成や、成績・保健管理等に活用することで、教職員の事務を軽減し、児童・生徒と向き合う時間の確保と、よりきめ細かな指導による教育の質の向上を図る。また、個人情報等を含むデータをサーバにより一元管理することで個人情報の持ち出しを防ぎ、学校内の情報セキュリティの向上を図る。		◆校務支援システムの円滑な運営のため、校内システム担当者を中心に、新・転任者等にも研修等で操作等の習熟に努めている。 ◆校内情報セキュリティ担当者に対し、個人情報の取り扱い等について研修を実施するとともに、各校で情報セキュリティ研修を行うことで、セキュリティに対する教職員の理解を深めている。			
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度
(目標値の根拠)		実績値 (%)	22.30	24.30	調査未実施 (9月30日現在)
		目標値 (%)	25.00	25.00	25.00
導入当初に設定した目標(教員の4人に1人がシステム導入以前の平均時間である10時間の半分以下の時間数を基準として設定)		達成割合 (%)	89.20	97.20	調査未実施 (9月30日現在)

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価区分	/
	市長公約	—		
	実行計画	—	区分の推移	
	関連計画	—		

8-⑥	学校給食事業【再掲】※基本方策2に記載	担当課	おいしい給食課
-----	---------------------	-----	---------

8-⑦	第三学校給食共同調理場の老朽化対策事業		担当課	おいしい給食課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	633,536
概要			進捗状況			
◆第三学校給食共同調理場の老朽化対策のため、既存の小学校単独調理場6箇所をセンター方式の共同調理場又は親子方式共同調理場に転換し、今後必要となる調理・配送能力を確保できるよう改築・改修を行い、小学校給食の安定的・継続的な提供を確保する。			◆春日学校給食共同調理場の工事は完成し、本年度4月より供用を開始している。また、さだ西・藤阪学校給食共同調理場も8月から供用を開始した。 ◆これにより、6箇所のセンター方式の共同調理場及び親子方式共同調理場が完成し、本事業は完了した。			
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
供用開始した調理場数		実績値 (場数)	2	1	3	
(目標値の根拠)		目標値 (場数)	2	2	3	
当該年度中に供用開始する予定の調理場数		達成割合 (%)	100.00	50.00	100.00	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価 区分	
	市長公約	平成29年度市政運営方針				
	実行計画	平成29年度当初実行計画			区分の 推移	
	関連計画	—				

## 基本方策9 生涯学習の推進と図書館の充実

社会が激しく変化し、複雑になる中で、生涯にわたり自らに必要な知識や能力を身に付けることが必要となっています。そうしたことを支えるためには、子育て、健康・医療・介護、職業、情報社会、安全・防災、環境問題等、様々な課題に関する学びと、その成果を生かす機会が生涯にわたって提供されることが必要です。

それぞれの分野における様々な行政部門・団体との連携を強めながら、特に基礎的な知識・技術の学習機会の提供に取り組みます<sup>①②</sup>。また、その学習の成果を、さらに地域において生かすことができる環境づくりを進めます。

図書館においては、これまでの図書館運営の成果と課題を検証したうえで、「枚方市立図書館第4次グランドビジョン」を策定（令和3年3月予定）し、知の源泉となる図書館資料を収集・保存し、市民ニーズに応じた資料や情報を提供する基本的な役割を果たす<sup>③④⑤⑥⑦⑧</sup>ことで、誰もが読書に親しむとともに、様々な課題の解決につながるよう支援します。また、新型コロナウイルス感染症等に対応する新しい生活様式を踏まえ、電子媒体を活用した非接触型の新しいサービス提供に向けた検討を進めます。

読書が果たす重要な役割を踏まえ、学校図書館に対する中央図書館による支援強化<sup>⑨</sup>や、小学校への学校司書配置など、学校図書館機能の充実を図ることにより、児童・生徒の読書活動を推進します<sup>⑩</sup>。

### 主要事業の進捗状況

9-①	社会教育活動推進事業	担当課	教育政策課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	5,984
概要		進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆社会教育基礎講座…人が地域で生活していくために必要な基礎的な知識や技術の習得の機会を提供する。</li> <li>◆家庭教育支援事業…自分の子育てを振り返る機会を提供し、“気づき”を促す。また、親と子が協力し一つのことを成し遂げたり、何かを作ったりすることで、コミュニケーションを図り、父親の家庭教育への参加を促す講座を開催する。</li> <li>◆社会教育（人権）講座等…お互いの違いを理解し、尊重することの大切さについて考える機会の提供などを行う講座や、日本語の読み書きや話すことに支障があるため、日常生活に困難を有する人に対し、日本語の学習の場を提供することを目的とした、「枚方市日本語・多文化共生教室『よみかき』」等を実施する。</li> </ul>		令和2年度は、『つながる、気づく』を共通のテーマに設定し、以下の事業を実施する。 ◆社会教育基礎講座は、現在企画中。 ◆家庭教育支援事業は、「ビーチグラスでモザイク画を作ろう!!」（12組34人参加、定員15組30人）を実施した。今後、思春期セミナー、親を考えるセミナー、親学び講座等を実施予定（定員未定）。 ◆社会教育人権講座は、現在企画中。枚方市多文化共生教室「よみかき」は、当初、令和2年4月1日より実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年7月より教室を開催し、令和2年9月30日時点で延べ開催日数は122日、学習者の延べ参加者数は455人である。			
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度
社会教育活動推進事業の募集人員に対する参加人数の割合  (目標値の根拠)  参加割合の目標値を80%とする		実績値 (%)	97.43	67.75	113.33
		目標値 (%)	80.00	80.00	80.00
		達成割合 (%)	121.79	84.69	141.66
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動で きるまち			評価 区分
	市長公約	—			
	実行計画	—			区分の 推移
	関連計画	—			

9-②	生涯学習事業	担当課	文化生涯学習課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	18,310
-----	--------	-----	---------	-----------------------------	--------

概要	進捗状況
<p>◆生涯学習事業の推進 他部署との連携事業や美術関連事業等、各生涯学習市民センターを実施場所として各種事業を実施。また、生涯学習市民センターまつりなど実行委員会形式により、市民主体の事業を実施している。</p> <p>◆生涯学習施設の運営 生涯学習市民センター（9施設）の利用運営を行い、生涯学習事業、活動委員会事業などの事業を実施している。</p> <p>◆枚方市生涯学習推進審議会運営事務 市民や専門家の幅広い意見を聴きながら、生涯学習による市民との協働のまちづくりを進めるために、平成18年4月に枚方市生涯学習推進審議会を設置。現在、審議会は学識経験者、関係市民団体等、計10人の委員で構成している。</p> <p>◆枚方市美術施設運営委員協議会運営事務 年3回協議会を開催し、市民ギャラリー、ふれあいホール、御殿山生涯学習美術センター及びびくずはアートギャラリーの企画展及び公募展の企画運営等、美術施設運営に関することについて、専門的な立場から意見をいただいている。</p>	<p>◆生涯学習事業の推進 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、9月末まで主催事業を中止又は延期としていたため、事業は行っていない。</p> <p>◆生涯学習施設の運営 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館していたが、6月15日から施設の貸出を開始している。</p> <p>◆枚方市生涯学習推進審議会運営事務 令和3年1月頃に開催予定。</p> <p>◆枚方市美術施設運営委員協議会運営事務 7月に第1回美術施設運営委員協議会を開催し、令和2年度の事業予定の協議を行っている。</p>

実績値及び目標の説明	年度	H30年度	R1年度	R2年度
満足度の割合 ※生涯学習施策推進アンケートより (算出式:「満足」「概ね満足」と回答した人数 /回答者人数×100) (目標値の根拠) 「満足」「概ね満足」と回答した人数が8割	実績値 (%)	—	—	調査未実施 (9月30日現在)
	目標値 (%)	—	—	80.00
	達成割合 (%)	—	—	調査未実施 (9月30日現在)

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動で きるまち	評価 区分	/
	市長公約	—		
	実行計画	平成28年度当初実行計画	区分の 推移	
	関連計画	—		

9-③	図書館資料購入事務	担当課	中央図書館	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	69,947
-----	-----------	-----	-------	-----------------------------	--------

概要	進捗状況
<p>◆入門書から専門書に至る難易度ごとの蔵書バランスを意識した資料及び教養を高める資料や市民のニーズ等を踏まえた、あらゆる分野にわたり正確で新しい情報を提供できる資料を計画的に購入する。</p>	<p>◆蔵書計画に定める収集方針を踏まえ、蔵書バランスを重視した、資料の計画的な収集を実施している。</p> <p>◆図書館の蔵書となる図書を児童書6,367冊、一般書16,465冊、合計22,832冊購入した。(9月30日現在)</p>

実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R 1 年度	R 2 年度
図書購入冊数		実績値 (冊)	38,093	38,244	22,832
(目標値の根拠)		目標値 (冊)	36,000	36,000	36,000
平成24年度～平成26年度の図書購入冊数の平均		達成割合 (%)	105.81	106.23	63.42
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動で きるまち			評価 区分
	市長公約	—			
	実行計画	—			区分の 推移
	関連計画	枚方市立図書館第3次グランドビジョン			

9-④	香里ヶ丘図書館建替事業	担当課	中央図書館	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	82,259
概要			進捗状況		
◆令和2年3月に建物の引き渡しを受けた新香里ヶ丘図書館について、7月の開館に向け、建て替え中に引き上げていた図書館資料等の物品の搬入、新たな図書の購入、備品の整備等を行う。			◆令和2年3月に建物の引き渡しを受けた新香里ヶ丘図書館に、旧図書館時代に使用していた物品等に加え、新たに購入した書架等、物品を搬入し、整備したうえで、令和2年7月22日に再開館し、指定管理者による運営を開始した。(9月30日現在)		
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R 1 年度	R 2 年度
香里ヶ丘図書館建替事業期間(平成28年4月1日～令和2年3月31日)における、事業の進捗割合		実績値 (%)	75.00	100.00	100.00
(目標値の根拠)		目標値 (%)	75.00	100.00	100.00
事業完了を100%とし、完了予定である令和元年度までの4年間で割った数値		達成割合 (%)	100.00	100.00	100.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動で きるまち			評価 区分
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針、令和元年度所信表明			
	実行計画	平成28年度12月補正実行計画			区分の 推移
	関連計画	枚方市立図書館第3次グランドビジョン			

9-⑤	分館・分室巡回業務	担当課	中央図書館	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	13,682
概要		進捗状況			
◆各図書館・分室が所蔵している図書館資料を、市民が希望する図書館・分室で貸出・返却が出来るよう中央図書館を起点に各図書館・分室を巡回する図書館資料の運搬を委託により実施している。		◆図書館業務に必要な不可欠な図書館資料の配送のため、適切な巡回業務に努めている。			
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R 1年度	R 2年度
分館・分室の巡回日数		実績値 (日)	499	499	256
(目標値の根拠)		目標値 (日)	500	499	502
年度当初に予定していた年間巡回日数		達成割合 (%)	99.80	100.00	51.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち		評価区分	
	市長公約	—			
	実行計画	平成28年度当初実行計画		区分の推移	
	関連計画	—			

9-⑥	中央図書館運営事業	担当課	中央図書館	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	56,999
概要		進捗状況			
◆幅広い分野の図書館資料を所蔵し、各図書館、分室、自動車文庫の貸出を支援するとともに、他の公共図書館との相互貸借、参考業務、児童サービスなどの中心となり各種図書館サービスを行う。		◆開館日数：119日 貸出冊数（個人）：217,793冊 予約受付件数（個人）：31,145件 延べ利用者数：58,325人 ◆新型コロナウイルス対策のため、4月8日から休館、5月8日から、予約本のみ受渡しサービスを開始し、6月1日から感染防止対策を実施し、再開館した。			
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R 1年度	R 2年度
市民一人あたりの枚方市内図書館での年間総貸出冊数		実績値 (冊/人)	8.45	8.33	2.65
(目標値の根拠)		目標値 (冊/人)	8.55	8.45	8.33
前年度の実績値		達成割合 (%)	98.83	98.58	31.81
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち		評価区分	
	市長公約	—			
	実行計画	—		区分の推移	
	関連計画	枚方市立図書館第3次グランドビジョン			

9-⑦	香里ヶ丘図書館・香里ヶ丘中央公園みどりの広場運営事業		担当課	中央図書館	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	70,610
概要			進捗状況			
◆若年・子育て世代を中心とする新たな定住を促し、持続可能な都市を目指すために、香里ヶ丘地区のまちづくりの一環として、老朽化した香里ヶ丘図書館を建替えるとともに、指定管理者制度のもと、隣接する香里ヶ丘中央公園みどりの広場と一体的な管理・運営を行う。			◆令和2年4月から、香里ヶ丘図書館・香里ヶ丘中央公園を一体的に指定管理者（令和元年度選定）によって運営している。 ◆7月22日に香里ヶ丘図書館を再開館した。			
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
香里ヶ丘図書館の延べ利用者数		実績値 (人)	—	—	35,012	
(目標値の根拠)		目標値 (人)	—	—	126,000	
建替え前の香里ヶ丘図書館の延利用者数に開館時間延長分を加算した人数		達成割合 (%)	—	—	27.79	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			評価区分	/
	市長公約	—				
	実行計画	—			区分の推移	
	関連計画	香里ヶ丘図書館建替え基本計画				

9-⑧	コンピュータシステム運営事業		担当課	中央図書館	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	37,376
概要			進捗状況			
◆図書館コンピュータシステムにより中央図書館、分館、分室をオンラインで結び、蔵書管理、貸出返却業務、インターネットによる蔵書検索サービスや予約サービス等を行う。			◆学校図書館教師用端末及び分館インターネット端末の更新を行った。(9月30日現在)			
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
インターネット予約件数		実績値 (件)	532,163	526,503	271,187	
(目標値の根拠)		目標値 (件)	580,000	580,000	580,000	
平成24年度～平成26年度のインターネット予約件数の平均		達成割合 (%)	91.75	90.78	46.76	

関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動で きるまち	評価 区分	
	市長公約	—		
	実行計画	平成28年度当初実行計画	区分の 推移	
	関連計画	—		

9-⑨	読書活動推進事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育指導課
-----	-----------------------	-----	-------

## 基本方策10 文化・スポーツなどの生涯を豊かにする体験活動の充実

「人生100年時代」を迎えるにあたり、一人ひとりの市民が多様な個性・能力を開花させ、生涯学び、活躍していくためには、豊かな文化・芸術にふれ、自然との関わりを持つことが大切です。

また、市民のふるさと意識やまちへの愛着を育むには、まちの歴史文化への理解を深めることが必要です。さらに、生涯にわたって健やかな生活を過ごすことを可能にするためには、健康な運動習慣を確立することが必要です。

こうしたことから、子どもの時から様々な体験活動や、自由な空間を提供するとともに、地域等とも連携しながら、生涯にわたって人生を豊かにする多様な学習機会を提供していくことが求められています。

社会教育と学校教育の連携を強化し、子どもたちが文化・芸術や自然の中での活動等、様々な体験ができる機会を確保します<sup>①②</sup>。

生涯学習市民センターや新たに開設する「総合文化芸術センター」などを活用し、子どもたちをはじめとする市民が文化・芸術についての関心を深め、そこに喜びや楽しみを感じられるような環境整備に努めます<sup>①③</sup>。

また、文化財等の適切な保存を進める<sup>④⑤</sup>とともに、特別史跡百済寺跡等の貴重な歴史文化遺産を生かして、子どもたちや市民の郷土の歴史への理解を深める<sup>⑥⑦</sup>とともに、歴史の薫り豊かなまちづくりや文化観光への活用・発展を進めます。

また、各種スポーツ・レクリエーション活動については、プロスポーツに触れる機会の提供や、スポーツ環境の整備に取り組む<sup>⑧⑨</sup>とともに、健康の維持増進を図るため、身近なところで誰もが取り組める健康スポーツの推進に取り組みます<sup>⑩</sup>。

子どもたちは、自らの意思で「時間」「空間」を選び、「仲間」を作りながら、自由な遊びを通して成長していきます。子どもにとって望ましい「放課後」を実現していくために令和2年3月に策定した「児童の放課後を豊かにする基本計画」を踏まえ、本市の実情に即した児童の総合的な放課後対策の計画的な整備を適切かつ円滑に取り組みます<sup>⑪⑫</sup>。また、留守家庭児童会室の土曜日開室や三季休業期のみの利用受付を検討します<sup>⑬</sup>。

### 主要事業の進捗状況

10-①	文化財啓発普及事業【再掲】※基本方策2に記載	担当課	文化財課
10-②	野外活動センター利用促進事業【再掲】※基本方策2に記載	担当課	スポーツ振興課

10-③	文化芸術創造拠点形成事業	担当課	文化生涯学習課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	28,397
概要		進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆枚方市文化芸術振興計画に基づき、事業を実施し、文化芸術振興審議会で進捗を管理する。</li> <li>◆市民が優れた文化芸術に触れる機会の充実や主体的に文化芸術活動を行うことのできる環境整備のため、文化国際財団との共催又は委託による事業のほか、直営で小中学生を対象とした将棋教室を開催。</li> <li>◆文化芸術アドバイザーの提案事業や連携協定を締結したプロのオーケストラ団体との事業を展開する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆文化芸術振興審議会を令和2年11月に開催予定。</li> <li>◆新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、9月末まで主催事業を中止又は延期としていたため、事業は行っていない。</li> </ul>			
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度
文化国際財団との共催又は委託事業及び文化振興課主催事業の実施回数		実績値 (回)	—	—	0
(目標値の根拠)		目標値 (回)	—	—	52
市が文化国際財団との共催又は委託して実施した実施及び文化振興課主催の事業数		達成割合 (%)	—	—	0.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			評価区分
	市長公約	—			
	実行計画	令和元年度当初実行計画			区分の推移
	関連計画	—			

10-④	文化財保護管理事業	担当課	文化財課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	38,703
概要		進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆茄子作遺跡・藤田山遺跡・蹉跎東プレハブ文化財収蔵庫・伝王仁墓等の文化財用地の草刈り等を行い、保護管理する。</li> <li>◆特別史跡百済寺跡の再整備に伴う発掘調査で出土した金属製品等の遺物について、保存科学処理の実施。</li> <li>◆特別史跡百済寺跡のバス専用駐車場の管理委託の実施</li> <li>◆近年樹勢に衰えがみえつつある、府指定天然記念物枚方田中邸のむくについて、樹木診断を行い、管理計画に基づき必要な管理を行う。</li> <li>◆楠葉台場跡は、台場内の施設等を低木植栽で表現するなど当時の雰囲気を感じられる史跡であり、その維持のため施肥や除草、支障竹木の伐採を行い、保護管理する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆文化財用地の保護管理は、委託で草刈りを7月に実施し、11月にも実施する予定である。</li> <li>◆特別史跡百済寺跡から出土した金属製品の保存科学処理は、委託先にて処理中であり、来年3月に完了予定。バス専用駐車場については、シルバー人材センターに委託しているが、コロナ禍の影響もあり、例年より観光客が少ない状況である。</li> <li>◆府指定天然記念物枚方田中邸のむくについては、管理計画に基づき、5月に法面で液体肥料の注入、4・7月に定点観察を行い、草木の芽吹きが増える等、樹勢回復の効果が得られた。来年2月には剪定作業や土壌改良を行う予定である。</li> <li>◆楠葉台場跡では、草刈り等の定期管理の他、住民からの要望に対応する等、日常管理に努めている。</li> </ul>			
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度
当該年度の遺物の保存科学処理事業進捗割合		実績値 (%)	100.00	100.00	50.00
(目標値の根拠)		目標値 (%)	100.00	100.00	100.00
当該年度の国庫補助金の費消率(%)		達成割合 (%)	100.00	100.00	50.00

関連計画	第5次 総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	評価 区分	/
	市長公約	—		
	実行計画	—	区分の 推移	
	関連計画	—		

10-⑤	市指定文化財補助事業	担当課	文化財課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	397
------	------------	-----	------	-----------------------------	-----

概要		進捗状況			
◆建造物の所有者に40,000円、建造物を除く有形文化財又は記念物の所有者に20,000円を交付する。これにより、市指定文化財の保存管理を支援する。		◆廃渚院観音寺鐘楼など3件の建造物と、意賀美神社の算額など建造物を除く有形文化財、民俗文化財及び記念物11件の交付申請を受理している。(交付予定額340千円)			

実績値及び目標の説明	年度	H30年度	R1年度	R2年度
市指定文化財を管理・保存するために交付する補助金の件数	実績値 (件)	17	14	14
	目標値 (件)	13	14	14
(目標値の根拠)	達成割合 (%)	130.77	100.00	100.00

関連計画	第5次 総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	評価 区分	/
	市長公約	—		
	実行計画	—	区分の 推移	
	関連計画	—		

10-⑥	特別史跡百済寺跡再整備事業	担当課	文化財課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	125,916
------	---------------	-----	------	-----------------------------	---------

概要		進捗状況			
◆平成16年度に測量調査実施、平成17年度から平成25年度の9年間で発掘調査を行い、並行して整備準備を行う。また、再整備に向け、平成24年度から平成25年度に基本計画の策定と基本設計を行う。平成26年度に実施設計を行い、平成27年度より再整備工事に着手している。		◆令和2年度は東南角地の擁壁工事と東南院及び東北院の一部の造成工事を行い、当該箇所には排水等各種設備を配置する。再整備工事及び施工監理については下半期に着手予定。			
◆再整備工事着手後、工事の遅延や築地塀の構造細部、瓦の意匠検討等に時間を要したため、整備計画スケジュールを見直し、事業完了を平成30年度としていたが、令和5年度となる。					
◆本年度は、百済寺跡公園東南角地の整備と公園東側の基盤整備、築地塀の実施計画を行うとともに、百済王氏に関連する文化財のある自治体と交流し賑わいの場を創出していく。					

実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R 1 年度	R 2 年度
当該年度の事業進捗割合		実績値 (%)	100.00	100.00	0.00
		目標値 (%)	100.00	100.00	100.00
(目標値の根拠) 当該年度の国庫補助金の費消率(%) (目標)事業進捗割合の完全実施		達成割合 (%)	100.00	100.00	0.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			評価 区分
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			区分の 推移
	関連計画	—			

10-⑦	市史編さん年報発行事務	担当課	文化財課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	996
概要		進捗状況			
◆歴史資料の収集・整理・保存ならびに市民の歴史に関する照会及び資料利用等の要望に応えるとともに、枚方市史年報を発行する。		◆枚方市史年報第23号の原稿執筆を依頼した。(9月30日現在) ◆マイクロフィルム紙焼製本を行った。(9月30日現在) ◆市史関連歴史資料等の収集・整理・保存を順次実施している。 ◆市民の歴史に関する照会及び資料利用等の要望に対応している。			
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R 1 年度	R 2 年度
市史関係の照会および市史資料の利用件数		実績値 (件)	230	372	115
		目標値 (件)	315	315	317
(目標値の根拠) 直近10年間のうち、利用件数上位5年の平均値		達成割合 (%)	73.02	118.10	36.28
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			評価 区分
	市長公約	—			
	実行計画	—			区分の 推移
	関連計画	—			

10-⑧	各種スポーツ大会等開催事業	担当課	スポーツ振興課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	38,105
概要		進捗状況			
◆各種競技大会(総合体育大会等)の運営を公益財団法人枚方市スポーツ協会に委託し、実施。 ◆市内高校バレーボール大会を実施し、同競技の振興と青少年の健全育成を図る。 ◆ラグビーカーニバルを公益財団法人枚方市スポーツ協会に委託して実施。		◆新型コロナウイルスの影響により9月末までは、市主催・共催イベントが原則中止であったことから春季総合体育大会等各種競技大会や市内高校バレーボール大会は中止・延期とした。 ◆ラグビーカーニバルは12月延期開催に向けて、実施形態や新型コロナウイルス対策等課題整理を行っている。			

実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R 1 年度	R 2 年度
各種大会等参加者数	実績値 (人)		22,094	22,560	0
	目標値 (人)		24,918	22,094	23,776
(目標値の根拠)					
昨年度目標値又は直近3年実績値の平均のどちらが多い数		達成割合 (%)	88.67	102.11	0.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち 施策目標 6 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち			評価 区分
	市長公約	—			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			区分の 推移
	関連計画	—			

10-⑨	スポーツ推進事業	担当課	スポーツ振興課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	347
概要		進捗状況			
◆策定されたスポーツ推進計画に基づき、「だれもが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康を増進し、人と人との交流を深めることを支える」を基本理念として、関係部署と連携を図りながらスポーツ施策を推進していく。		◆新型コロナウイルス感染症対策のため、指定管理者等と連携して、スポーツ施設の利用再開に向けた課題検討、利用ルールの整理を行っている。 ◆スポーツ推進計画の具体的施策を点検・評価する枚方市スポーツ推進審議会については、開催に向けて委員の改選等の手続きを行っている。			
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R 1 年度	R 2 年度
スポーツ活動者数	実績値 (人)		1,150,649	1,102,369	0
	目標値 (人)		1,128,501	1,150,649	1,150,649
(目標値の根拠)					
昨年度目標値又は直近3年実績値の平均のどちらが多い数		達成割合 (%)	101.97	95.80	0.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち 施策目標 6 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち			評価 区分
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			区分の 推移
	関連計画	—			

10-⑩	総合型放課後事業（放課後キッズクラブ）		担当課	放課後子ども課	事業費計 予算額 （千円） ※人件費は除く	1,067
概要			進捗状況			
◆子どもにとって望ましい「放課後」を実現していくために令和2年3月に策定した「児童の放課後を豊かにする基本計画」を踏まえ、本市の実情に即した児童の総合的な放課後対策の計画的な整備を適切かつ円滑に行う。			◆令和3年4月からの民間委託先行導入に向けて、9月に総合型放課後事業委託事業者選定審査会を設置し、9月～12月にかけて開催している。12月に委託予定事業者を決定予定である。委託契約は令和3年2月中旬までに締結する。 令和3年2月～3月にかけて引継ぎ保育を実施予定である。 ◆10月15日から20日にかけて、先行導入対象校4校の保護者に対し説明会を実施している。			
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
放課後キッズクラブの核となる、留守家庭児童会室と放課後子ども教室の総合的な運営事業に参加した児童と保護者の満足度		実績値 （%）	—	—	調査未実施 （9月30日現在）	
（目標の根拠）		目標値 （%）	—	—	100.00	
放課後キッズクラブの核となる、留守家庭児童会室と放課後子ども教室の総合的な運営事業に参加した児童と保護者の満足度が100%		達成割合 （%）	—	—	調査未実施 （9月30日現在）	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			評価 区分	/
	市長公約	平成29,30,令和元年度市政運営方針				
	実行計画	平成30年度当初実行計画			区分の 推移	
	関連計画	—				

10-⑪	留守家庭児童会室運営事業		担当課	放課後子ども課	事業費計 予算額 （千円） ※人件費は除く	76,264
概要			進捗状況			
◆民間活力の活用や適切な施設整備、学校の余裕教室の活用など、留守家庭児童会室事業の再構築に向けた検討を行う。			◆令和2年3月に策定した「児童の放課後を豊かにする基本計画」に基づき、既存事業である「留守家庭児童会室」と新たに取り組む「放課後子ども教室」を核とした全児童対策事業「放課後キッズクラブ」に取り組む。 ◆令和3年度より、山田小、さだ小、川越小、津田小の校において、先行導入する。また、サービス提供の公平性確保の観点から、残る41校を対象に放課後キッズクラブ本格導入までの間、留守家庭児童会室における土曜日開室及び三季休業期のみ利用受付について、検討する。			
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
待機児童数（1月末時点）		実績値 （人）	0	0	調査未実施 （9月30日現在）	
（目標の根拠）		目標値 （人）	0	0	0	
待機児童数0人		達成割合 （%）	100.00	100.00	調査未実施 （9月30日現在）	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			評価 区分	/
	市長公約	平成29,30,令和元年度市政運営方針				
	実行計画	平成30年度当初実行計画			区分の 推移	
	関連計画	—				

10-⑫	枚方子どもいきいき広場補助事業	担当課	放課後子ども課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	32,103
概要		進捗状況			
◆これからの時代を生きる子どもの「生きる力」を育むことを目的として、市内45小学校区で、土曜日の学校休業日を基本に、地域の特色や多様性を活かしたプログラムを児童健全育成事業として実施する。地域団体やNPO等に対し支援・助成を行う。		◆感染症拡大予防のため、いきいき広場事業の活動を6月まで休止、7月より開始している。その後も感染状況を注視し、感染拡大防止対策を十分に講じて、活動を実施している。 ◆いきいき広場事業の活動団体代表者会議を開催し、団体間で講師やプログラム案の情報交換の場を提供している。			
実績値及び目標の説明		年度	H30年度	R 1年度	R 2年度
参加した子どもにおける事業の満足度 (算出式: 満足度の高いアンケート回答者数/ アンケート回答者数)		実績値 (%)	—	—	調査未実施 (9月30日現在)
(目標の根拠)		目標値 (%)	—	—	100.00
参加した子どもにおける事業の満足度		達成割合 (%)	—	—	調査未実施 (9月30日現在)
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			評価 区分
	市長公約	—			
	実行計画	平成30年度当初実行計画			区分の 推移
	関連計画	—			